

外国にルーツを持つ青少年の キャリア支援事業

Career Support Project for Youths with Roots Abroad
Projeto de Orientação Vocacional para Jovens com Raízes Estrangeiras

報告書

2017年2月

浜松市

【目次】

1	事業の目的.....	2
2	事業の概要.....	2
	(1) 実施概要.....	2
	(2) 実施体制.....	2
3	事業の考察.....	3
4	実施報告.....	5
	(1) 関係諸機関とのネットワーク会議.....	5
	(2) 学齢期を過ぎた外国人青少年の実態調査.....	6
	①実態調査の概要.....	6
	②調査結果の特徴.....	7
	③調査結果から見えてくるもの.....	8
	④実態調査結果.....	9
	(3) 外国にルーツを持つ高等学校在籍者へのキャリア支援研修.....	33
	①定時制高等学校への出前授業.....	33
	②外国にルーツを持つ高校生のための就職応援セミナー.....	34
	(4) 外国にルーツを持つ青少年のキャリア支援を考える集い.....	35
5	参考資料.....	38
	(1) 実態調査票.....	38
	(2) 浜松市における在留外国人の状況.....	47

1 事業の目的

外国にルーツを持つ青少年の社会参加を促進するため、義務教育期後の外国人青少年の実態を把握するとともに、職業意識の醸成や自らの将来を考えるための研修、就業に関する情報の提供など、積極的なキャリア形成に資する事業を行う。

2 事業の概要

(1) 実施概要

◆事業背景

- ・学齢期を過ぎた外国人青少年の進学後の様子や就労を含む生活の実態が明らかになっていない部分が多い。
- ・高等学校への進学率は86.7%（平成27年度末）と高くなってきているが、離学してしまうケースも多い。
- ・不安定な就労形態の保護者が多く、就業や将来設計の情報も少ない。
- ・定住化が進むなか、日本生まれ日本育ちの外国籍児童生徒が増加するなど、地域社会へ定着する傾向がある。

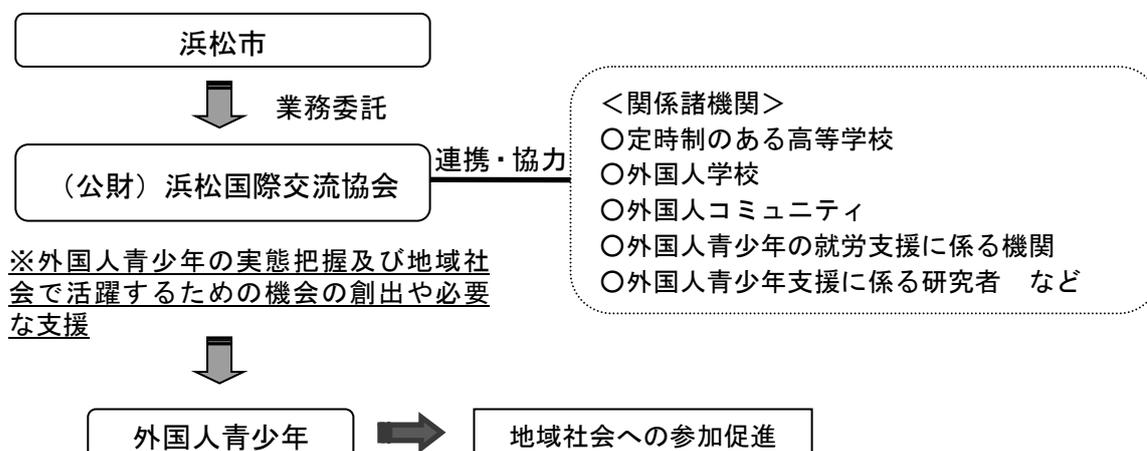
◆委託先

公益財団法人浜松国際交流協会

◆事業内容

- 学齢期を過ぎた外国人青少年の実態調査
- 外国にルーツを持つ高等学校在籍者へのキャリア支援研修
- 外国人青少年のキャリア支援を考える集いの開催

(2) 実施体制



3 事業の考察

静岡県立大学 准教授 高畑 幸

本事業を通じて、浜松市における外国人青少年の来住と定住に関する最新の状況を把握することが出来た。1990年の入管法改正施行から20年以上が経過し、第二世代が成長し社会人となる一方、新規及び再来日する若者も増えていることから、双方を対象とした支援の継続が望まれる。

<1 類型化>

実態調査の対象者は、定時制高校や外国人学校等の在籍者（15歳～19歳）で、回答者135人であった。回答者の属性を見ると、国籍（ルーツ）と在日年数で4つに類型化できるようだ。第一に、南米系とフィリピン系に二分される。さらには、南米系、フィリピン系ともに第二世代グループと新規・再来日グループとに分かれる。

特に、来日から1～2年という「新規・再来日」の若者が増加していることは注目すべきである。

<2 進路志向>

外国人青少年は、「日本で学び続け、安定した職に就く」ことを希望している。しかしながら、高校卒業後の進路は自分一人で決められるものではなく、親と先生からの勧めによる影響が大きい。親も本人も「今は自分のために勉強するとき」との価値観では一致している。

<3 家庭的背景>

外国人青少年の役割は「定住する外国人家庭と日本社会の窓口」である。核家族で暮らしている割合が高く、親の平均像は「日本語の読み書きが不得手で、製造業に従事し、共働き」であり、改正入管法施行により来日した外国人住民第一世代の典型である。一方、日本育ちの本人たちは、親世代に比べて日本語の識字能力が高く、親の通訳・翻訳係も務める。経済的状況が苦しい家庭で暮らし、アルバイトをしているという若者も多く、高校卒業後の進学には、本人の学力問題に加えて学費の心配がある。

<4 今後の課題>

上記2と3で挙げた点から言えるのは、「日本での安定就労に向けた具体的な進路（進学・就職）を知らせ、経済的な問題をクリアするための方策（奨学金等）を提示する」ことが必要だということである。

今回実施した実態調査の回答者には、日本の公立高校と外国人学校の高校課程在籍者を含む。上記の情報提供に向けて、前者には外国にルーツを持つ若者グループ

COLORS(カラーズ)による先輩と後輩の交流促進が効果的であろう。後者については、まず進路に関する実態調査から始めたい。国内で就職・進学を希望する生徒には情報提供とともに、日本語指導を充実できるよう財政的・人的支援が考えられる。

また、進路選択に対しては、「親からの勧め」が重要である。親向けの進路情報・奨学金情報のガイダンスの開催や外国にルーツを持つ高校生を対象とした合同進路相談会(専門学校、大学、企業)の開催も検討できるだろう。

一方、南米系もフィリピン系も「新規・再来日者」が増えている。彼らへの日本語学習機会の提供も引き続き行う必要がある。

4 実施報告

(1) 関係諸機関とのネットワーク会議

外国人青少年の支援に係る関係諸機関との連携体制を構築するため、ネットワーク会議を立ち上げた。



- ◆開催日 2016年5月11日(水)
- ◆会場 浜松市多文化共生センター
- ◆参加団体 静岡県立新居高等学校
静岡県立浜名高等学校
静岡県立浜松大平台高等学校
静岡県立浜松北高等学校
静岡県立浜松工業高等学校
外国人学校イーエーエス伯人学校
外国人学校ムンド・デ・アレグリア学校
ハローワーク浜松
一般財団法人日本国際協力センター(JICE)
特定非営利活動法人フィリピンナガイサ
公益財団法人浜松国際交流協会

<オブザーバー>

静岡県地域外交局多文化共生課
静岡県教育委員会高校教育課
公益財団法人静岡県国際交流協会
浜松市企画調整部国際課

<事業協力者>

静岡県立大学国際関係学部 准教授 高畑 幸

(2) 学齡期を過ぎた外国人青少年の実態調査

外国人青少年の実態や抱える課題等を把握するため、定時制高等学校や外国人学校などの在籍者を対象としたアンケート調査を実施した。



①実態調査の概要

◆調査目的

学齡期を過ぎた外国にルーツを持つ青少年の高等学校進学後の様子や生活実態の把握

◆調査期間

2016年7月～9月

◆調査対象

- ・市内在住及び市内教育機関等に在籍する外国人青少年（15歳～19歳）
- ・回答数 135人（※対象外年齢2人含む）

◆調査方法

下記会場における集合調査法によるアンケート調査（定量調査）

- ・静岡県立浜松工業高等学校
- ・静岡県立浜松大平台高等学校
- ・浜松市外国人学習支援センター講座「若者のための日本語教室」
- ・外国人学校ムンド・デ・アレグリア学校
- ・外国人学校イーエーエス伯人学校
- ・特定非営利活動法人アラッセ
- ・浜松市立高等学校「インターナショナルクラス」 など

②調査結果の特徴

(1) 基本属性

- ・ブラジルやペルーなど南米系の国籍者が多い（68.1%）。
- ・長期滞在可能な在留資格が9割以上（95.6%）を占める。
- ・父、母、兄弟姉妹と共に暮らす4人前後の家族構成が多い。

(2) ルーツや来日前の状況

- ・日本生まれ日本育ち、もしくは母国で生まれ幼少期の来日等、日本に長期滞在しているケースが多く、滞在期間10年以上が大半を占める。
- ・2008年のリーマン・ショック以降の来日は激減しているが、ここ1~2年の来日者は増加傾向にある。
- ・親に帯同して家族単位で来日しているケースが多い。

(3) 言語能力（日本語及び母国語）

※いずれも本人の主観的回答

- ・「日本語を問題なく使える」が42.2%、「漢字読み書き可」が24.4%と日本語能力は比較的高い状態。
- ・一方、「日本語がほとんどできない」14.1%、「漢字読み書き不可」14.1%との回答もある。
- ・母国語についても日本語と同様の傾向があり、習得状況に差がある。

(4) 日本での生活状況

- ・経済的に厳しい家庭が多く、家計や学費のためにアルバイトに従事している割合が高い（55.6%）。
- ・多くが製造業に従事する親世代と異なり、飲食業やサービス業に従事する割合が高い。
- ・「地域活動には参加したことがない」という回答が半数近く（49.6%）を占め、地域社会との関わりは少ない。
- ・空いている時間は自分のために過ごす人が多いが、親や家族のための通訳翻訳、兄弟の世話などの役割も担っている。

(5) 両親の状況

- ・製造業に従事している家庭が多い（父親73.6%、母親76.7%）。
- ・多くの家庭が両親共稼ぎで家庭を空ける時間が多い。
- ・両親ともに「派遣契約社員・パートアルバイト」など有期雇用の割合が高い。
- ・日本語は、両親ともに概して不得手。

(6) 日本での就学状況

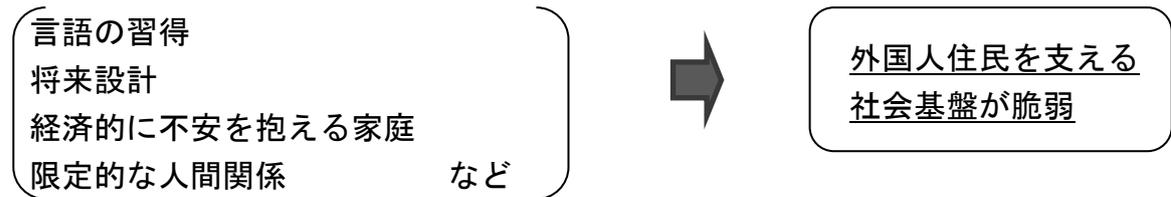
- ・ 高校や大学等には自分の希望で進学しているケースが大半。
- ・ 外国人学校進学も含めると 8 割以上が高校課程へ進学。
- ・ 進学等に影響力があるのは主に親や学校の先生であり、同じ背景をもつ友人の割合は少ない。

(7) これからの進路

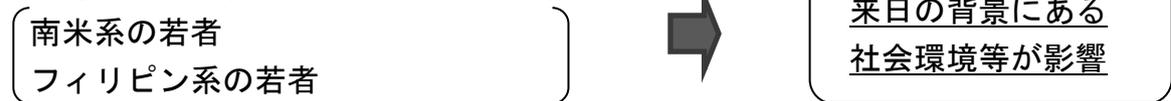
- ・ 進学や日本語習得を希望している者が 7 割超 (70.3%) と多い。
- ・ 経済的余裕がないためか、4 割弱が「働きながら」の進学等を選択している。
- ・ 引き続き、日本で就労及び進学したい希望を持つ者が大半を占める。
- ・ 進路選択上で必要な支援は「情報の入手・習得機会」が 64.4%で最多、「経済的支援」も 51.9%と高い。
- ・ 進路を考える上で最も影響を受けるのは、親や家族が 6 割超 (63.7%)。

③調査結果から見えてくるもの

○外国人青少年が抱える様々な課題



○出身地域や国籍などにより、一定の傾向も

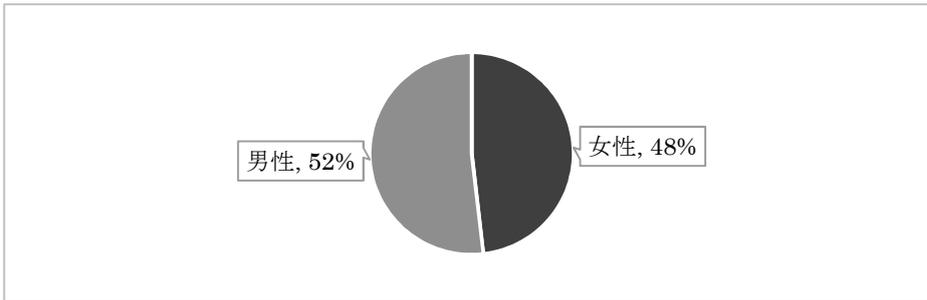


南米系の若者	フィリピン系の若者
<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>幼少期からの長期滞在</u> ・ <u>就労を目的とした親に帯同して来日</u> ・ <u>同じ境遇の若者が多い</u> ・ <u>主に学習言語の日本語習得に課題</u> ・ 親の多くは製造業に従事し雇用は不安定 ・ 親は概して日本語は不得手 ・ 保護者は共稼ぎで家族との時間が少ない ・ 家族間で使用する言語が異なるケースも ・ 家計や学費のため多くがアルバイトに従事 ・ 今後、自ら日本での進学や就労を希望 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>学齢期後半以降での来日が多い</u> ・ <u>親からの呼び寄せ等により来日</u> ・ <u>縁故者を中心に近隣で生活</u> ・ <u>日本語未習得者が多い</u> ・ 学力定着の不安など学習に課題を持つ ・ 多くが将来設計を描けない状態にある ・ 自らの居場所を見つけられないケースも ・ 生活をはじめ、学習や就労等の情報を未取得 ・ 保護者から家計のため日本での就労を期待 ・ 保護者の希望もあり、日本での滞在を希望

④実態調査結果

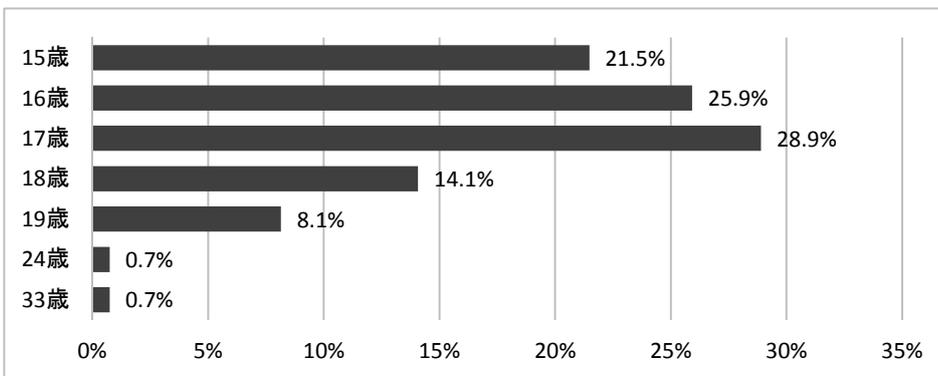
1. あなたについておたずねします

1-1 性別は (n=135)



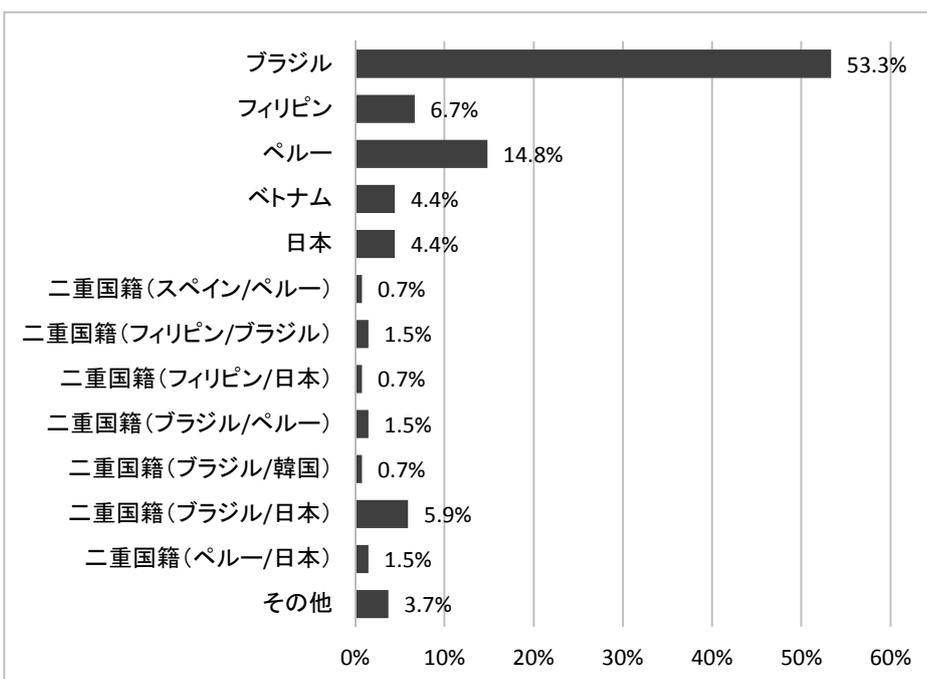
男性が 52%、女性 48%とほぼ同じ割合。

1-2 年齢は (n=135)



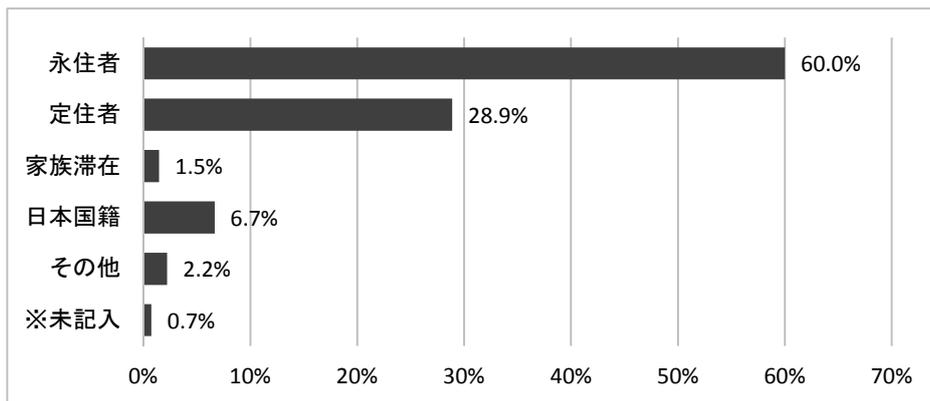
17歳が 28.9%と最多。次いで、16歳 25.9%、15歳 21.5%と続く。(対象外年齢 2人)

1-3 国籍は (n=135)



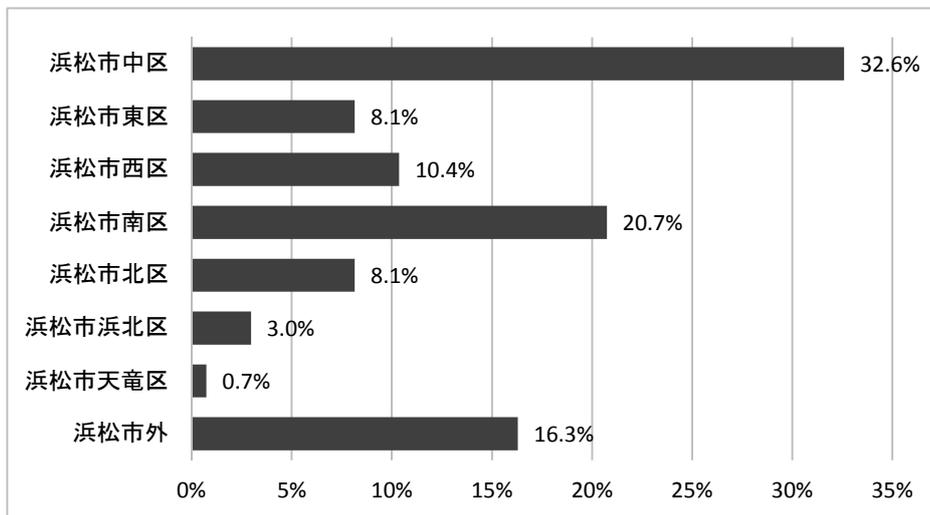
ブラジルが 53.3%と最多。次いで、ペルー14.8%、(南米系で全体の 68.1% : 二重国籍も含めると 8割弱が南米系の国籍) フィリピン 6.7%と続く。その他 1割が二重国籍。

1-4 在留資格は (n=135)



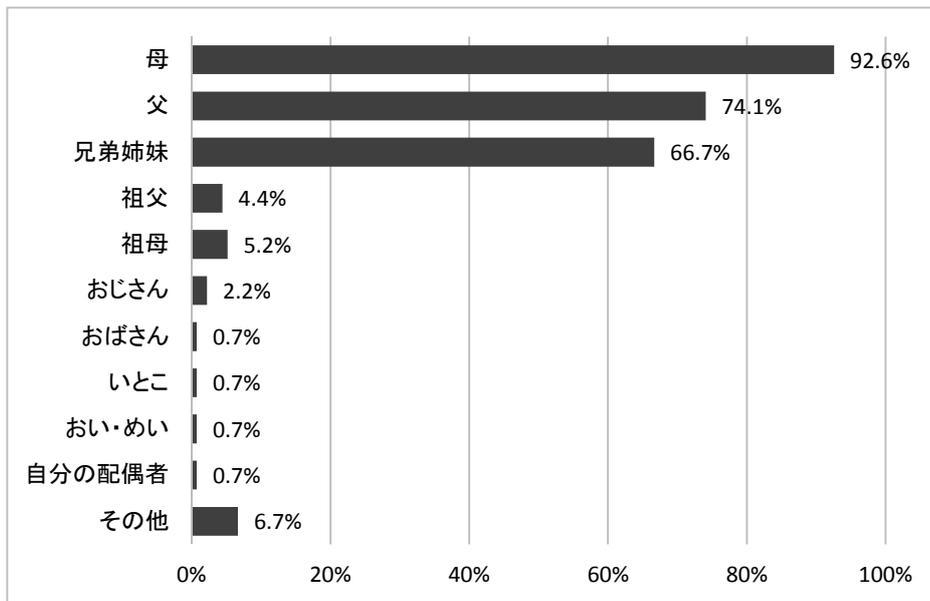
永住者が 60.0%と最多。定住者 28.9%、日本国籍 6.7%と合わせると 9 割超が長期滞在可能な在留資格を有する。

1-5 今、住んでいる場所は (n=135)



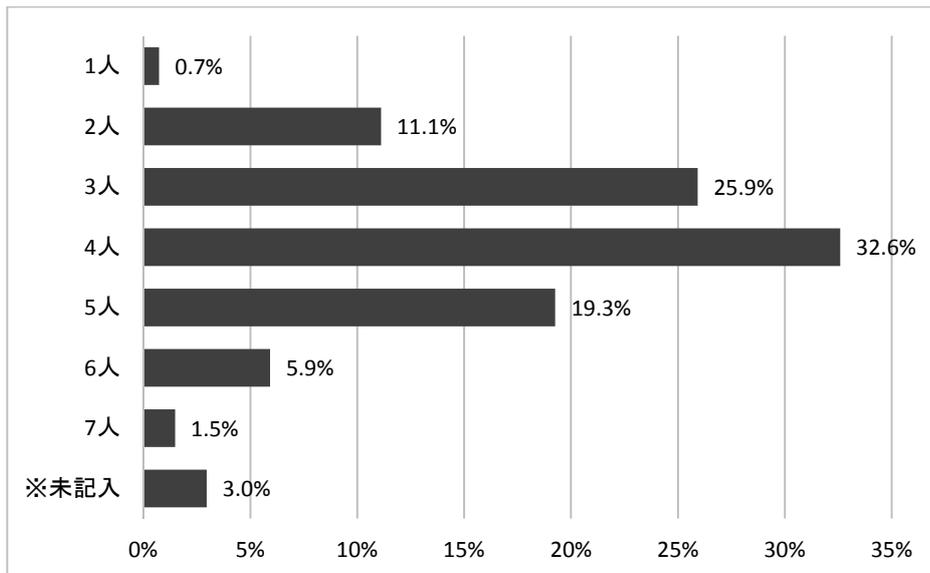
中区が 32.6%と最多。次いで、南区の 20.7%、西区 10.4%と続き、東区・北区は 8.1%で同率。

1-6 誰と暮らしていますか（複数回答可）（n=135）



母 96.6%、父 74.1%、兄弟姉妹 66.7%と比較的核家族の傾向にある。

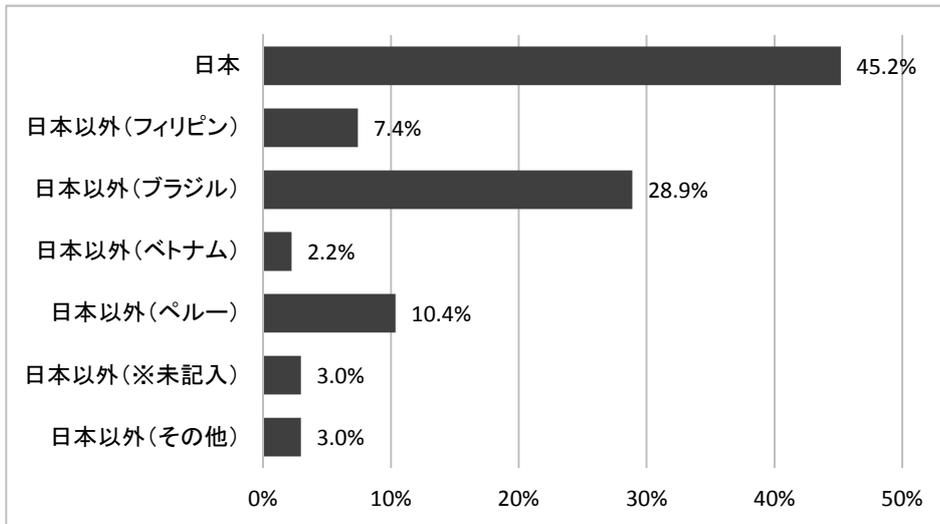
1-6 家族合計（n=135）



4人が32.6%と最多。前設問からも父・母・兄弟姉妹の家族構成で暮らしている傾向が伺える。

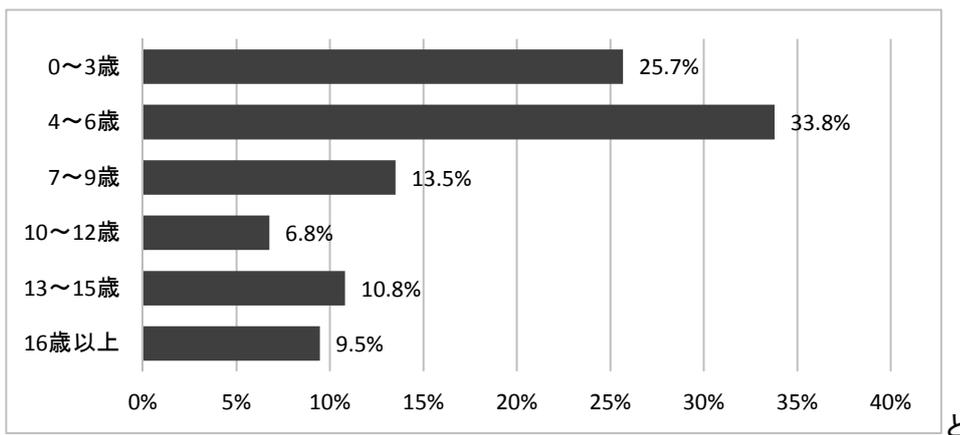
2. あなたのルーツについておたずねします

2-1 あなたが生まれた場所は (n=135)



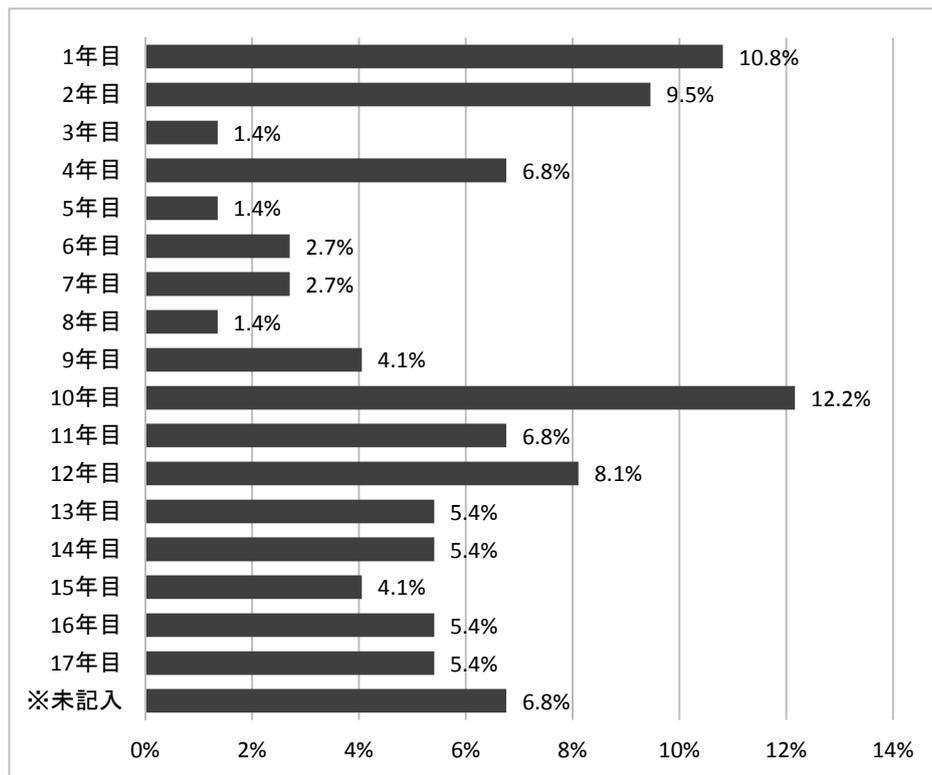
日本生まれが 45.2%と最多。日本以外ではブラジルが 28.9%で続く。

2-2-1 日本に来たのは何歳の頃ですか (n=74)



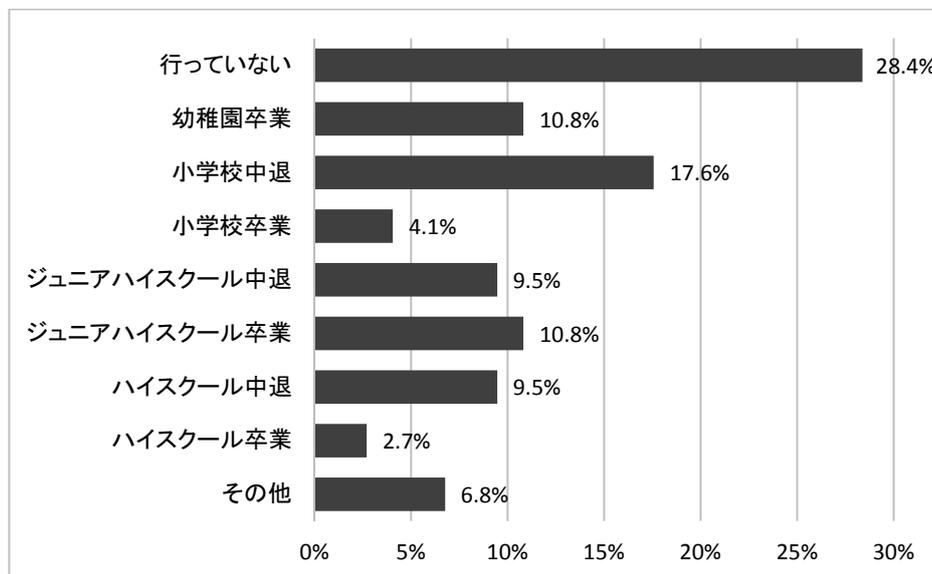
日本以外で生まれた者の来日時期は「4-6 歳」が 33.8%と最多。「0-3 歳」の 25.7%と合わせると 6 割近くが幼少期に来日していることが伺える。

2-2-2 来日何年目になりますか (n=74)



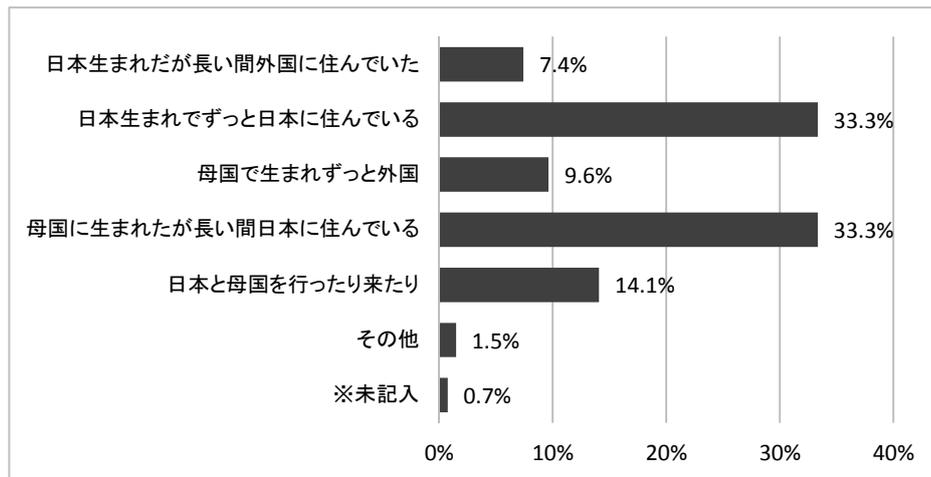
10年以上の在留期間が比較的高いが、リーマン・ショック（2008年（8年前））後の来日割合は激減。一方、近年「1年目」10.8%「2年目」9.5%と、来日が増加している。

2-2-3 来日する前に、学校にいましたか (n=74)



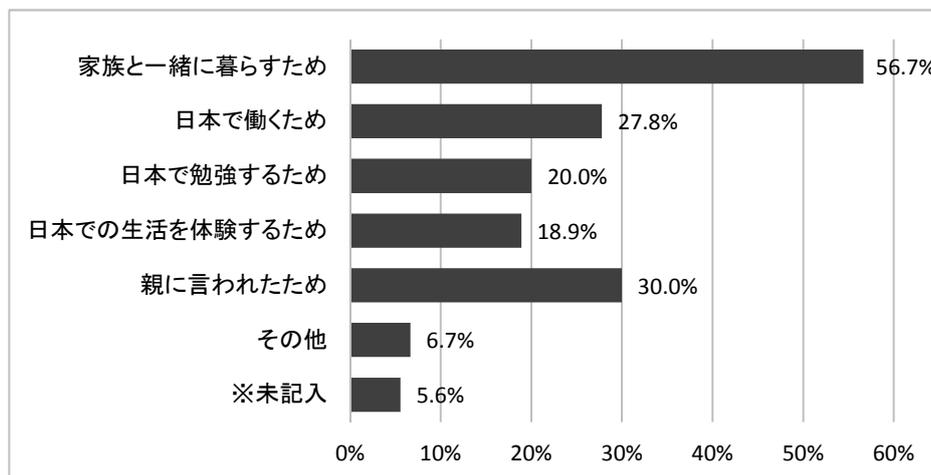
幼少期での来日が多いため、「行っていない」（28.4%）、「小学校中退」（17.6%）の割合が高い。

2-3 これまでのあなたの住んでいたところは、どれに近いですか (n=135)



「日本生まれ日本育ち」「母国生まれ日本育ち」がそれぞれ 33.3%と長い間日本で暮らしている者が全体の 7 割近くを占める。一方、母国と日本を何回か往来する者も 1 割程度見受けられる。

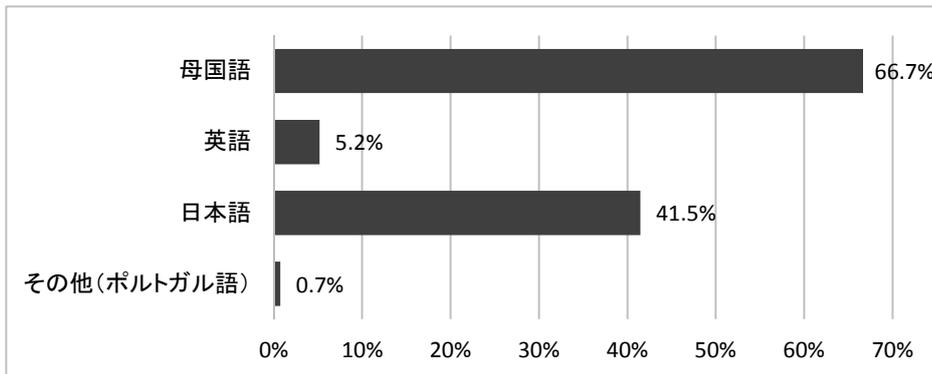
2-4 日本に来た理由はどれに近いですか (複数回答可) (n=90)



「家族と一緒に暮らすため」が 56.7%と最多。次いで、「親に言われたため」が 30.0%と続き、幼少期に親に帯同した来日割合が高く、親の影響が高いことが伺える。

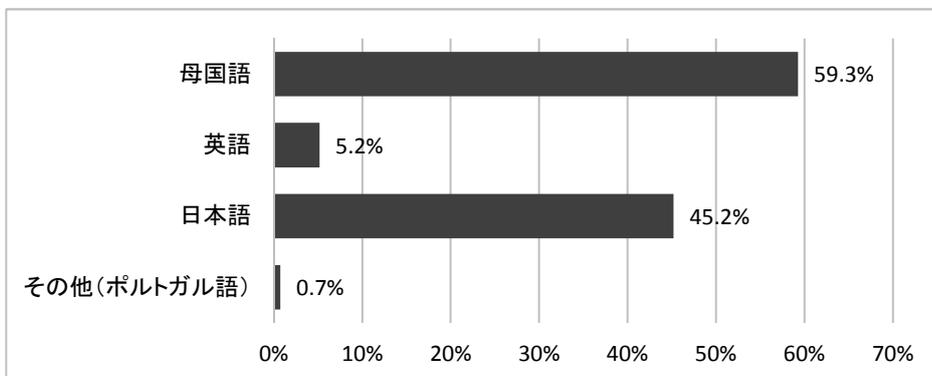
3. あなたの言葉についておたずねします

3-1 現在、あなたが一番、話しやすい言葉は (n=135)



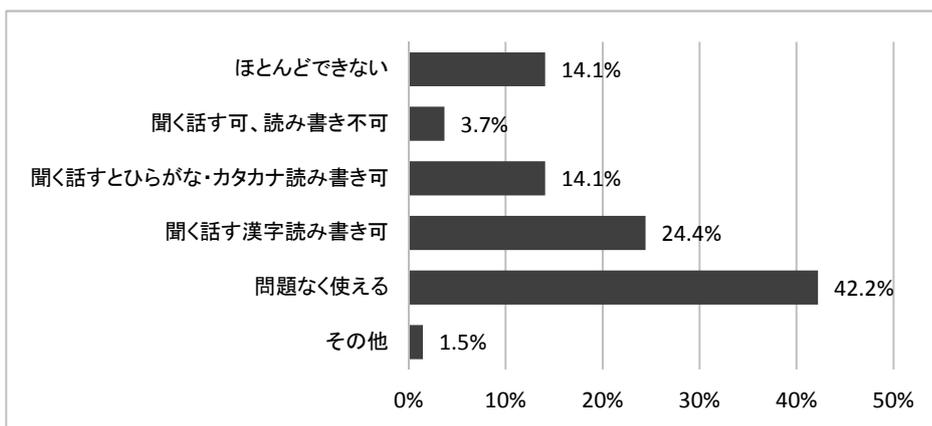
母国語 (66.7%) が日本語 (41.5%) より高い割合となっている。

3-2 現在、あなたが一番、読み書きしやすい言葉は (n=135)



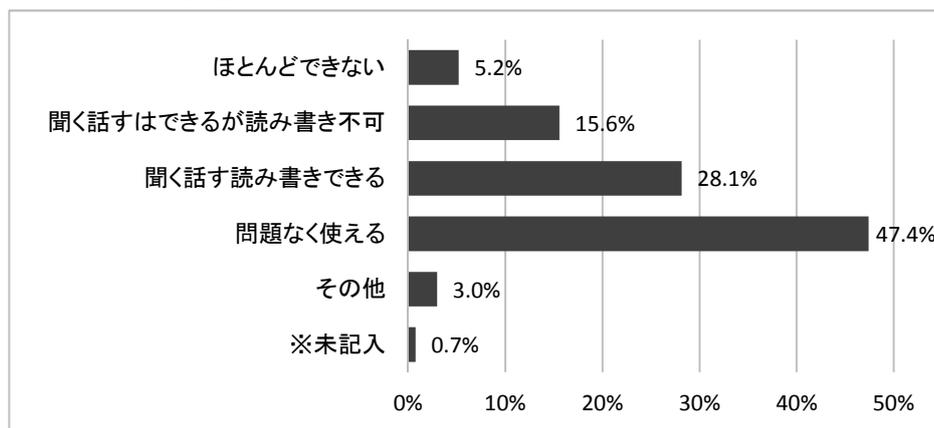
話しやすい言語と同様、母国語 (59.3%) が日本語 (45.2%) より高い割合となっている。

3-3 現在、日本語はどのくらいできますか (n=135)



「問題なく使える」が 42.2%、「聞く話す漢字読み書き可」が 24.4%と、7割弱がある程度不自由なく日本語を使えるレベルにあると回答している。一方、「ほとんどできない」が 14.1%、「読み書きが全くできない」若しくは「ひらがなカタカナしかできない。」が 17.9%と、日本生まれ日本育ちが半数近く (45%) を占める割に日本語ができない者も比較的多いことが伺える。

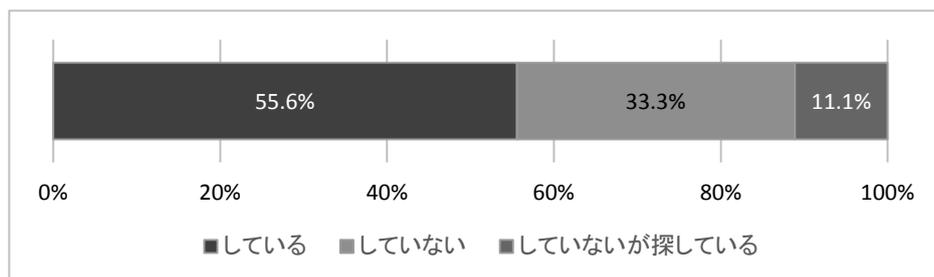
3-4 現在、母国語はどのくらいできますか (n=135)



こちらも日本語と同様「問題なく使える」47.4%、「聞く話す読み書き可」28.1%と約7割が不自由なく母国語を使えるレベルにあることが伺える。

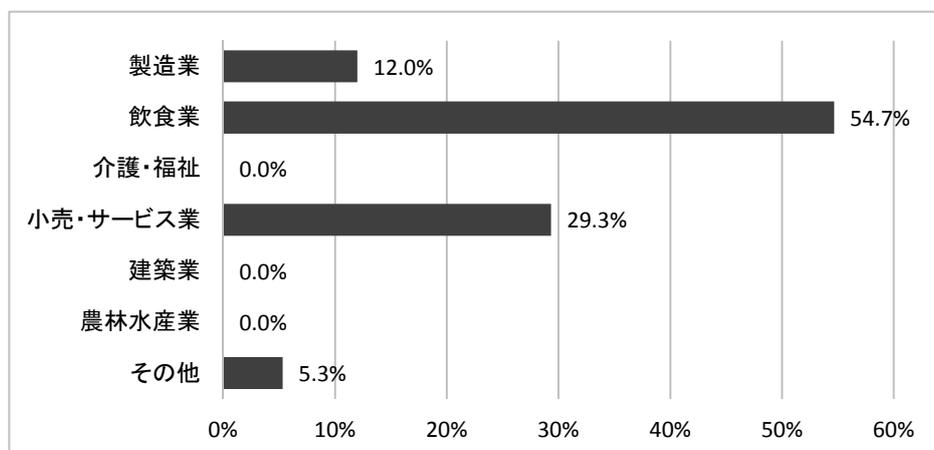
4. 今の日本での暮らしについておたずねします

4-1 現在、仕事（アルバイト含む）をしていますか (n=135)



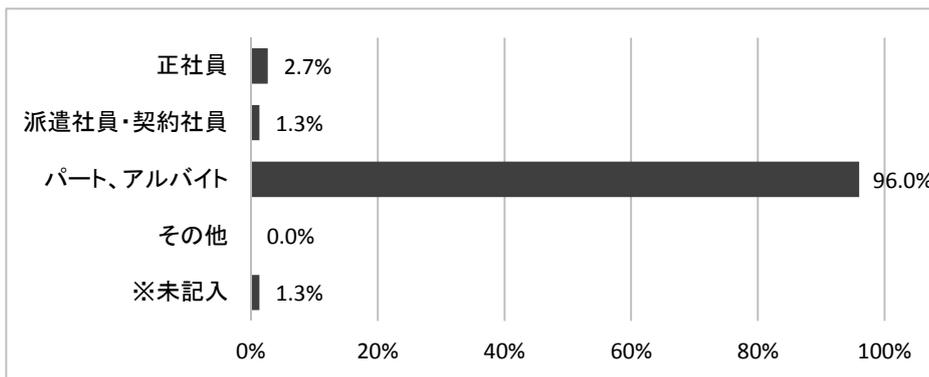
アルバイトも含め仕事をしている割合が全体の55.6%と過半数を占めている。

4-2-1 仕事は何ですか (n=75)



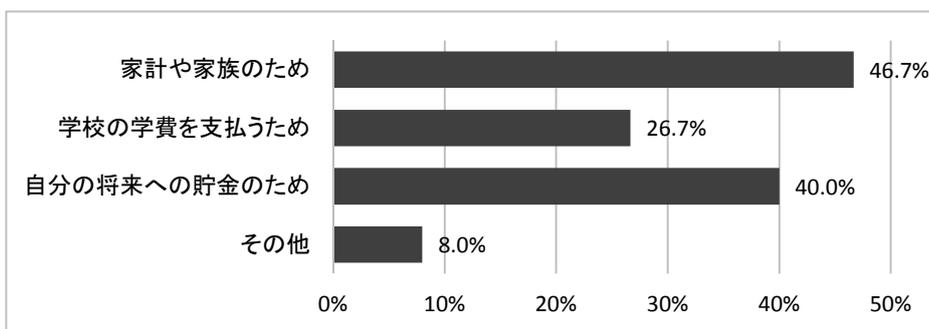
飲食業が54.7%と最多。次いで、小売・サービス業が29.3%、製造業12.0%と続く。

4-2-2 雇われ方は (n=75)



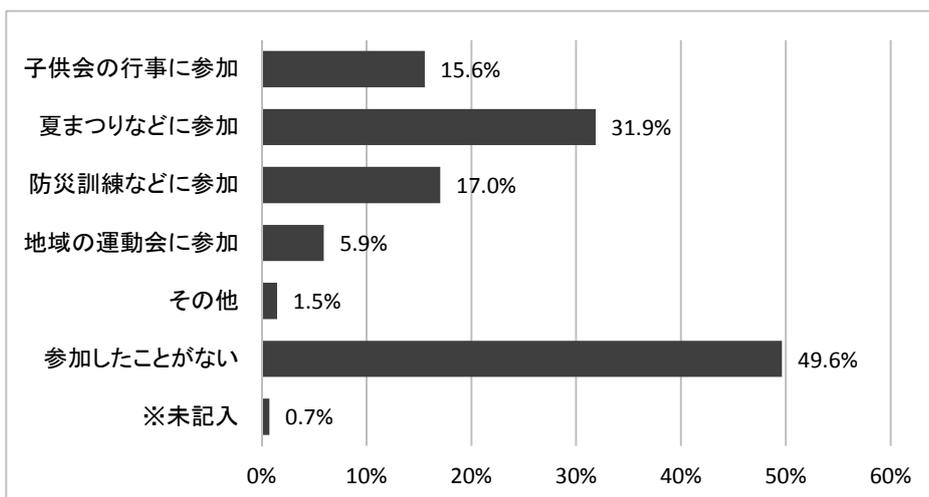
パート、アルバイトが96.0%と大半を占める。

4-2-3 仕事をしている理由は (n=75)



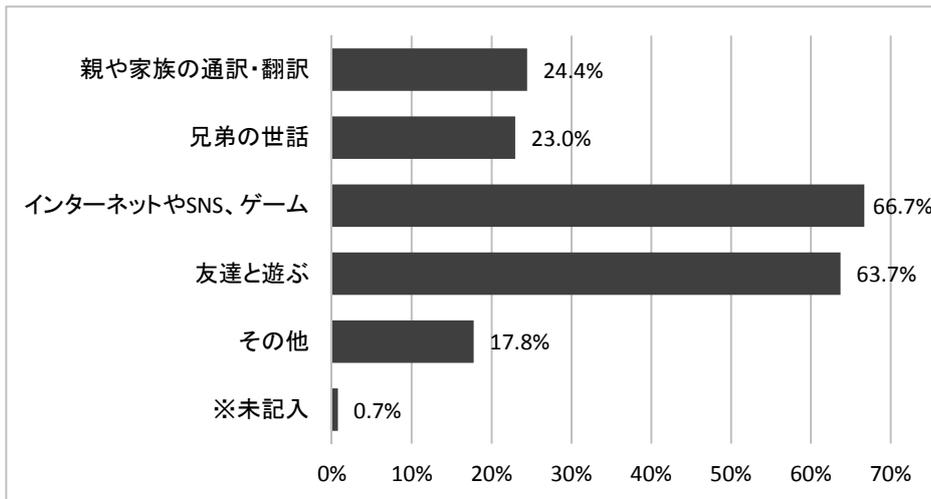
「家計や家族のため」が46.7%で最多。「学校の学費を支払うため」の26.7%を含めると、全体の7割強が家計や学費のために働いており、経済的に厳しい環境下にいる若者が多いことが伺える。

4-3 地域でおこなわれている行事に家族で参加しますか（しましたか） (n=135)



「参加したことがない」が49.6%と全体の約半数を占める。長い間日本で暮らしている者が多い割に、地域との関わりが少ないことが伺える。

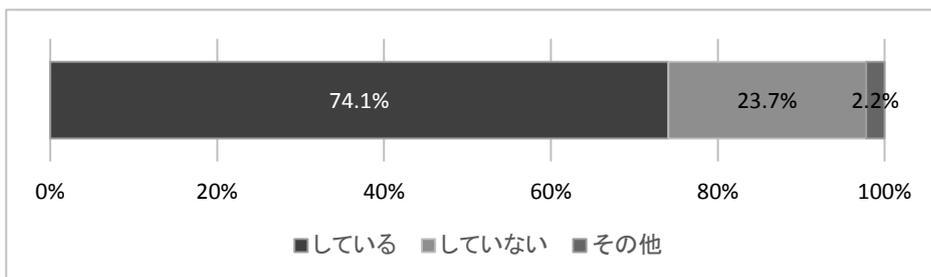
4-4 空いている時間に、何をしていますか（複数回答可）（n=135）



インターネットやゲーム・友達と遊ぶ割合が高い。一方、親や家族の通訳・翻訳 24.4%、兄弟の世話 23.0% と、家族や兄弟のために時間を割くことも多いことが伺える。

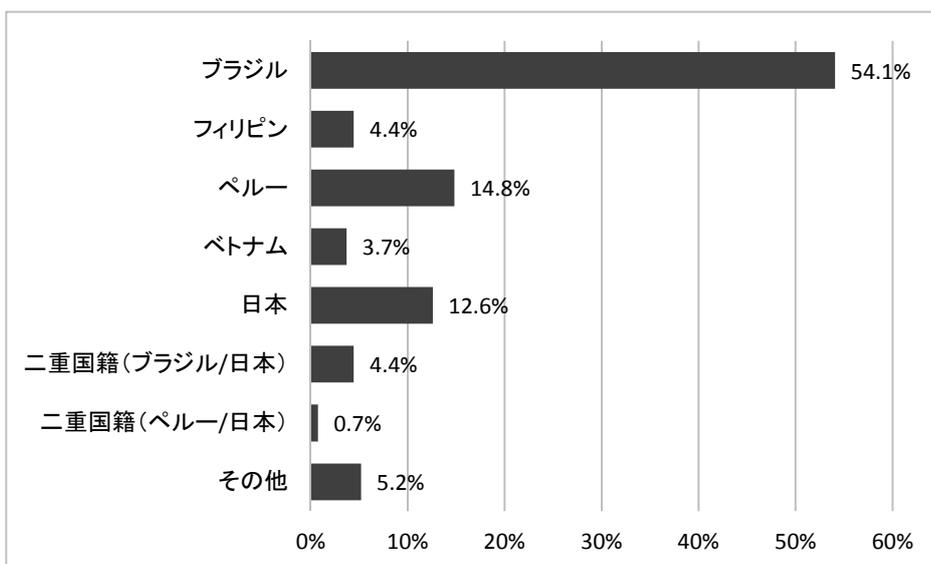
5-1 あなたのお父さんについておたずねします

5-1-1 お父さんと同居していますか（n=135）



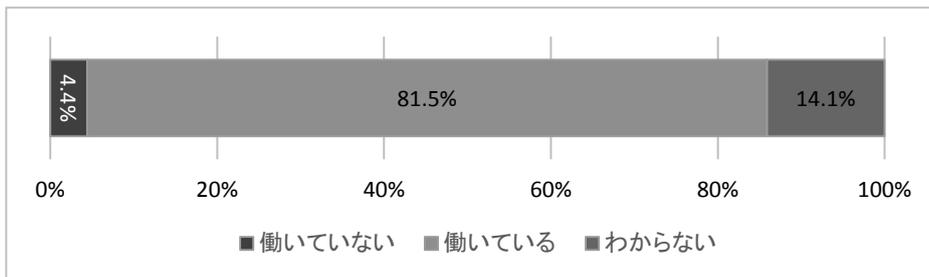
7割超（74.1%）が同居している。

5-1-2 お父さんの国籍は何ですか（n=135）



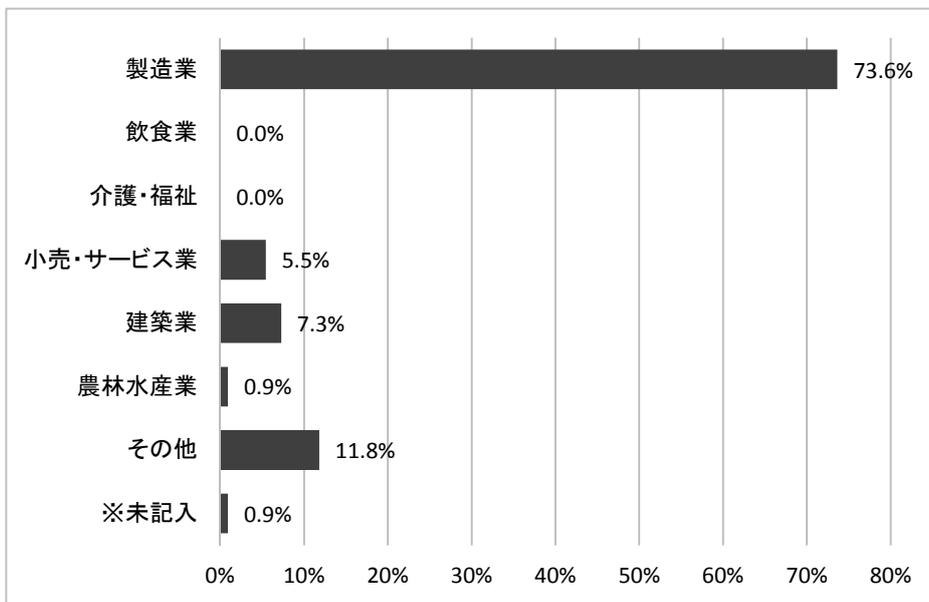
ブラジルが 54.1%と最多。次いで、ペルー14.8%、日本 12.6%と続く。

5-1-3 お父さんは働いていますか (n=135)



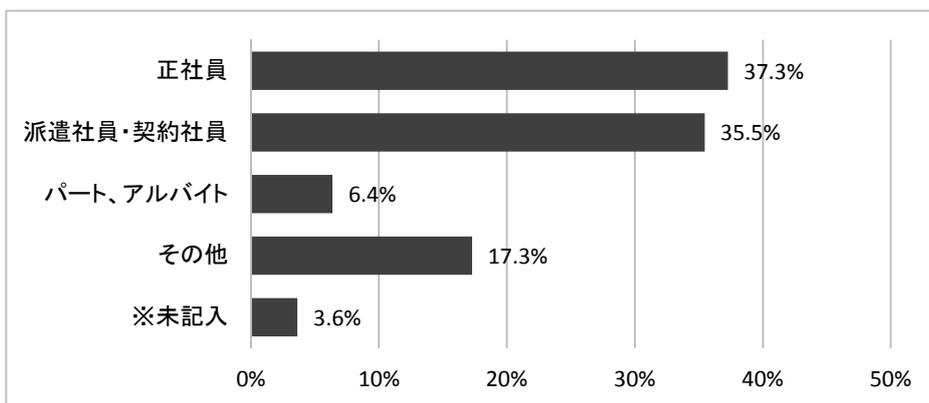
働いているが81.5%と最多。

5-1-4 仕事は何ですか (複数回答可) (n=110)



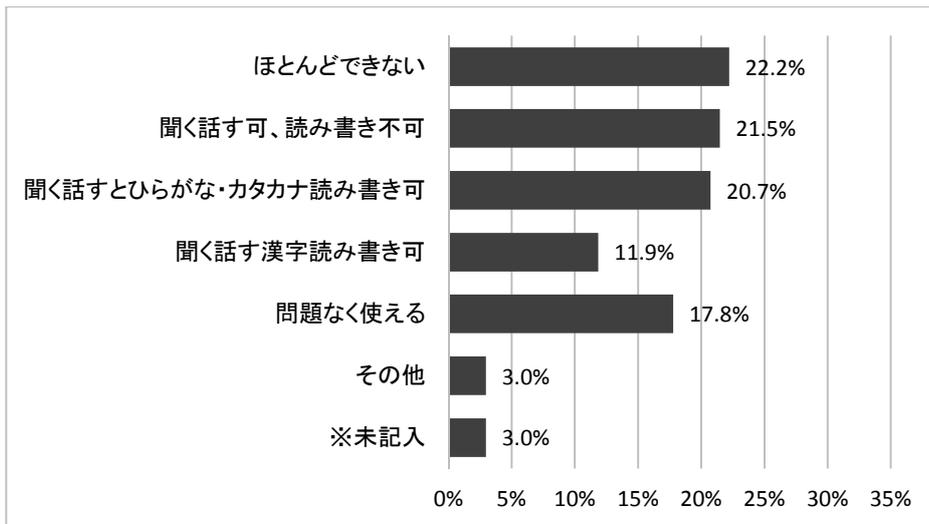
業種は製造業が7割超(73.6%)を占める。

5-1-5 雇われ方は (n=110)



雇用形態は正社員が37.3%で最多。派遣・契約社員が35.5%と続く。

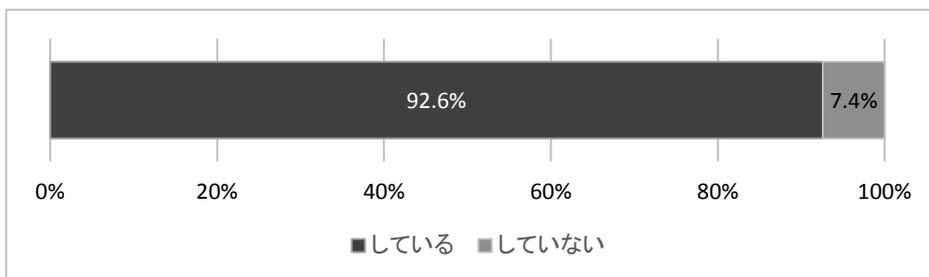
5-1-6 現在、日本語はどのくらいできますか (n=135)



「問題なく使える」が 17.8%「聞く話す漢字読み書き可」が 11.9%と、ある程度不自由なく日本語ができる割合が全体の 3 割弱しかない。本人（7 割）と比べると日本語未修得の父親が多いことが伺える。

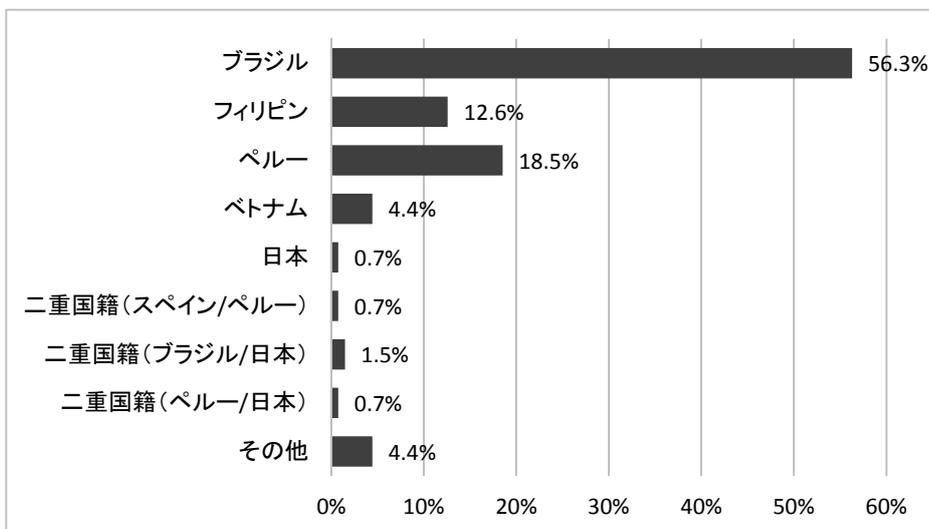
5-2 あなたのお母さんについておたずねします

5-2-1 お母さんと同居していますか (n=135)



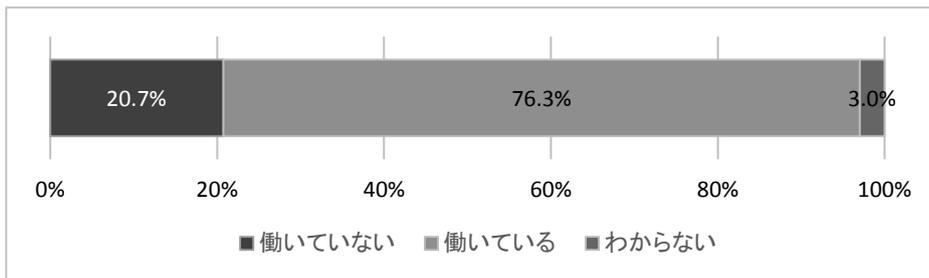
「同居している」が 92.6%と父親（74.1%）より同居している割合は高い。

5-2-2 お母さんの国籍は何ですか (n=135)



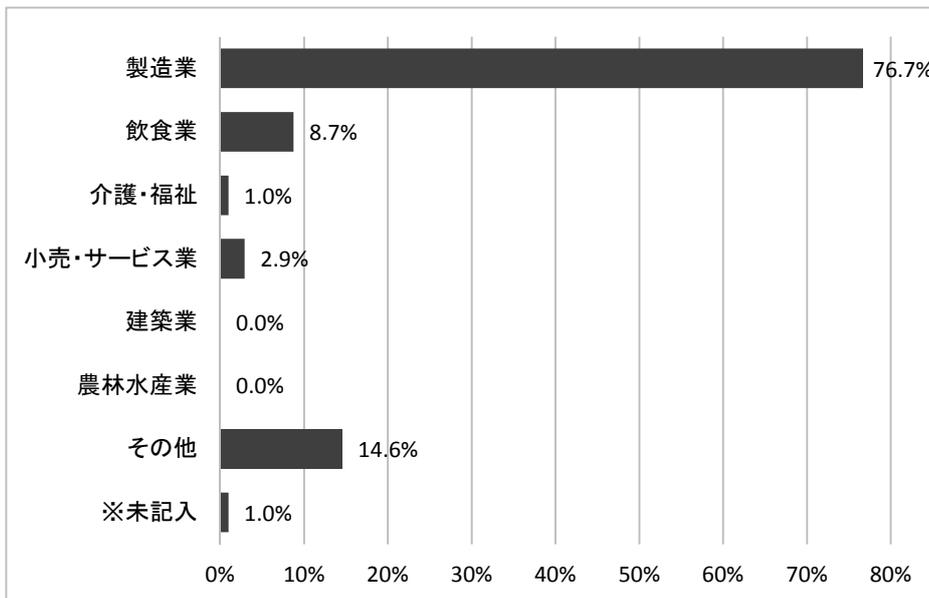
ブラジルが 56.3%と最多。次いで、ペルー18.5%、フィリピン 12.6%と続く。

5-2-3 お母さんは働いていますか (n=135)



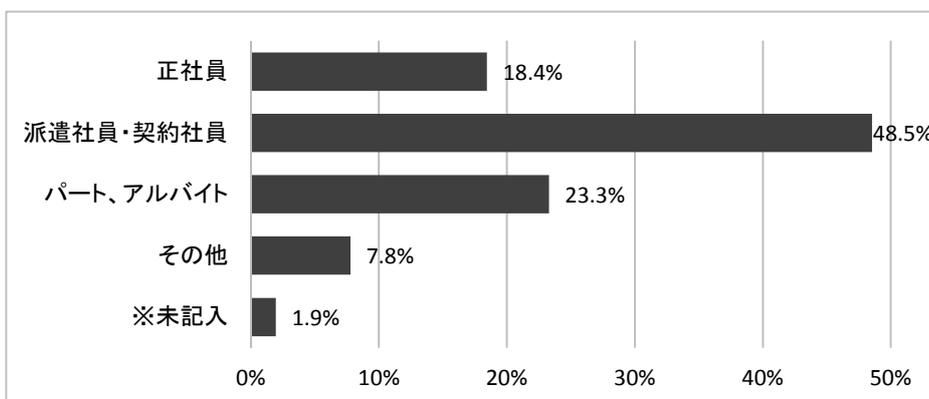
「働いている」が76.3%と最多。父親81.5%より若干低いものの、多くの家庭が共稼ぎの状況にある。

5-2-4 仕事は何ですか (複数回答可) (n=103)



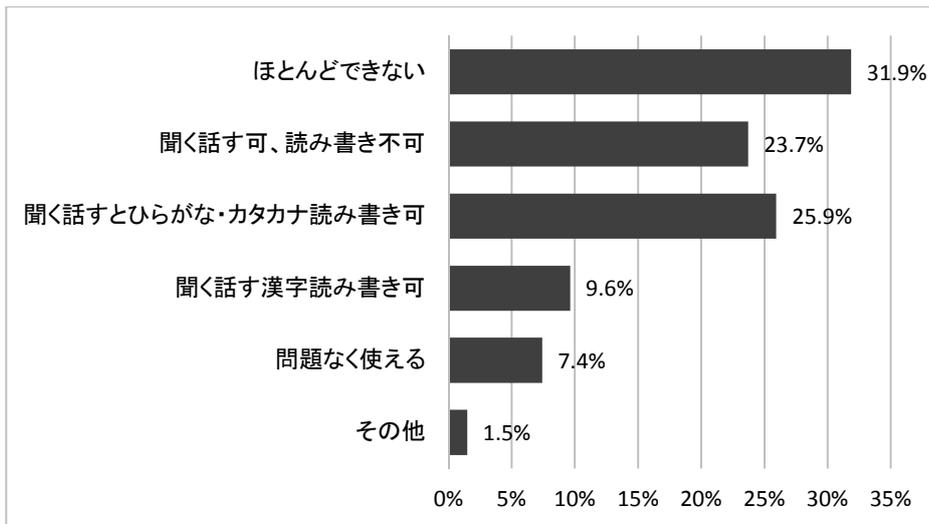
こちらも父親と同様製造業が76.7%と大半を占める。一方、飲食業8.7%、介護・福祉1.0%への就業も若干ある。

5-2-5 雇われ方は (n=103)



派遣・契約社員が48.5%、パートアルバイトが23.3%と、父親と比較すると不安定な雇用形態の割合が高い。

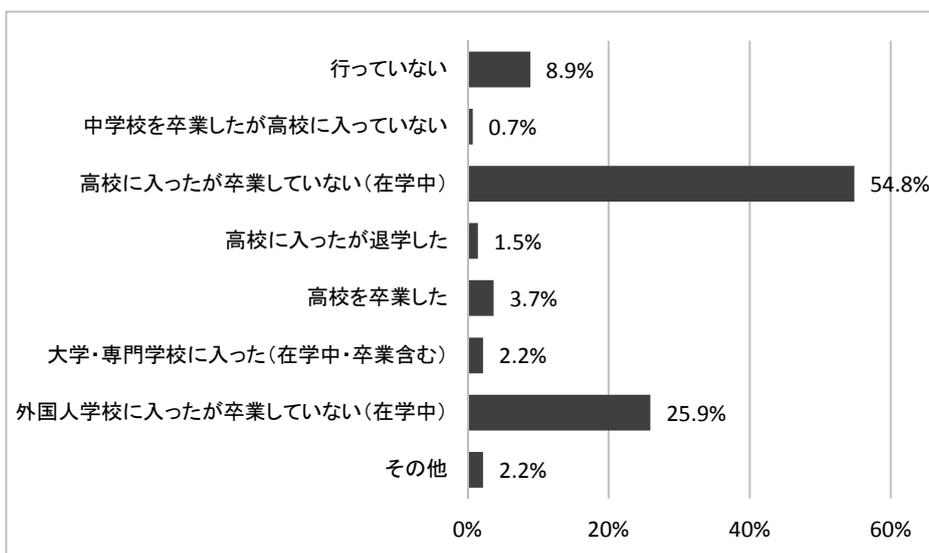
5-2-6 現在、日本語はどのくらいできますか (n=135)



「問題なく使える」が 7.4% 「聞く話す漢字読み書き可」が 9.6%と、ある程度不自由なく日本語が使える割合は 17%しかいない。本人や父親と比較すると日本語未修得の割合が高いことが伺える。

6. あなたが日本で通った学校についておたずねします

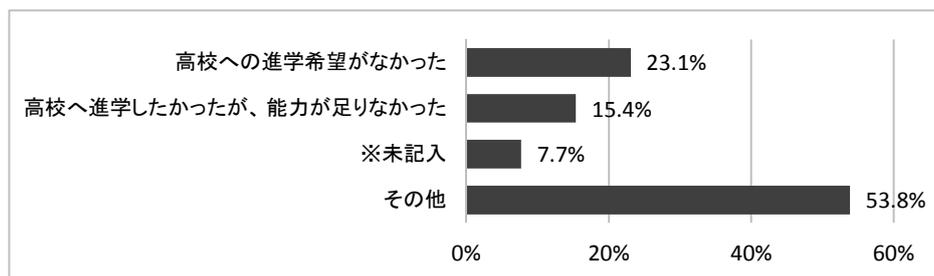
6-1 日本で学校に行っています（した）か (n=135)



高校在籍者が 54.8%と最多。次いで、外国人学校在籍者が 25.9%となっている。

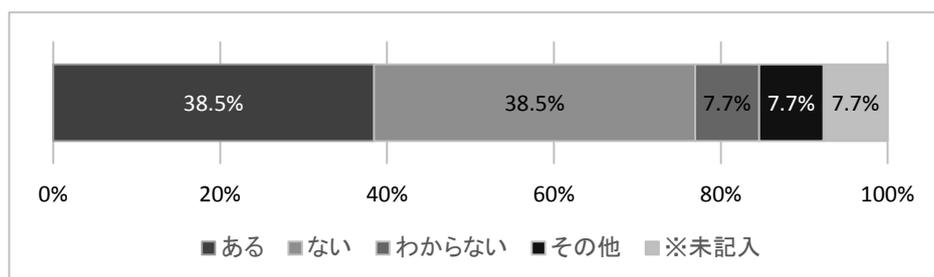
6-2 日本で公立高校に行かなかった方におたずねします

6-2-1 高校に行かなかった理由として一番近いものを教えてください (n=13)



その他が 53.8%で最多。内訳としては「すでに学校に行く年齢を超過していた」、「親はすすめたが働きたかった」など。進学希望がなかったが 23.1%、能力が足りなかったが 15.4%と続く。

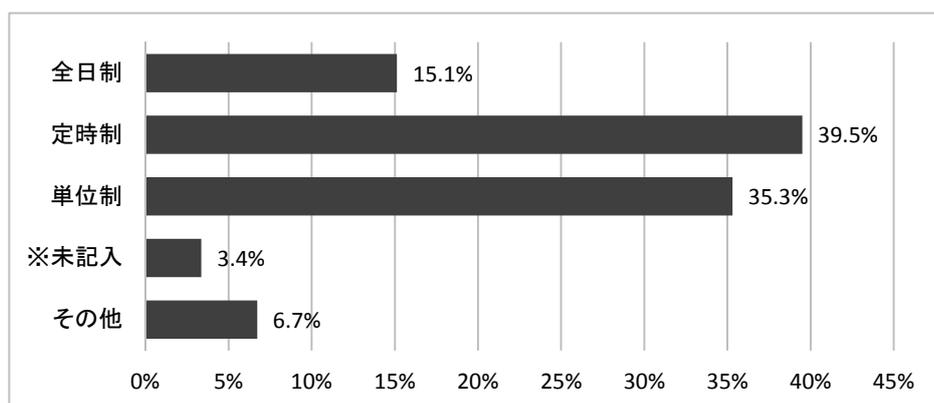
6-2-2 これから高校へ進学して勉強したい希望はありますか (n=13)



進学したい及びわからないが同率で 38.5%となっている。

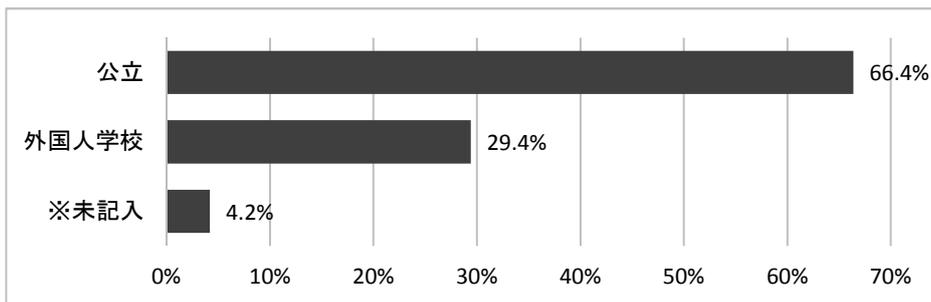
6-3 日本で高校に通っている（いた）方におたずねします

6-3-1 全日制ですか、定時制ですか (n=119)



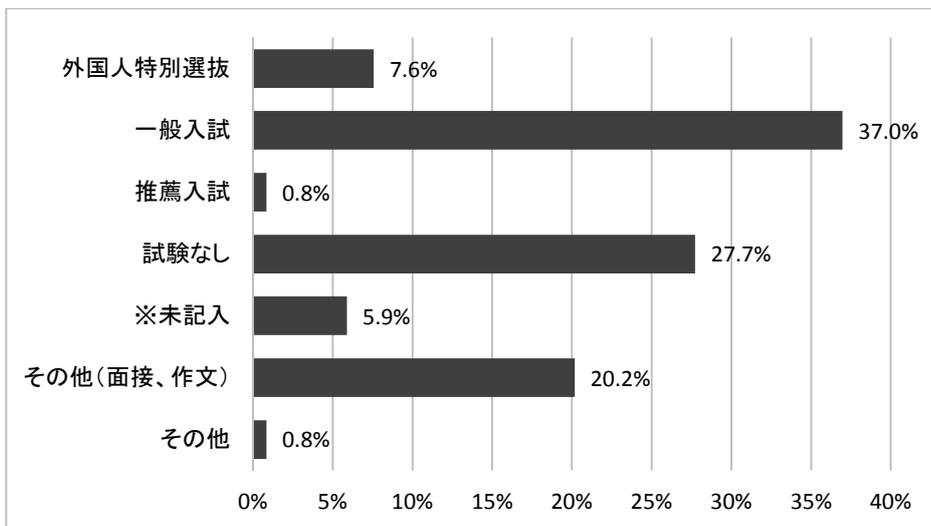
定時制が 4 割近く（39.5%）と最多。次いで、単位制が 35.3%と続く。

6-3-2 公立ですか、外国人学校ですか (n=119)



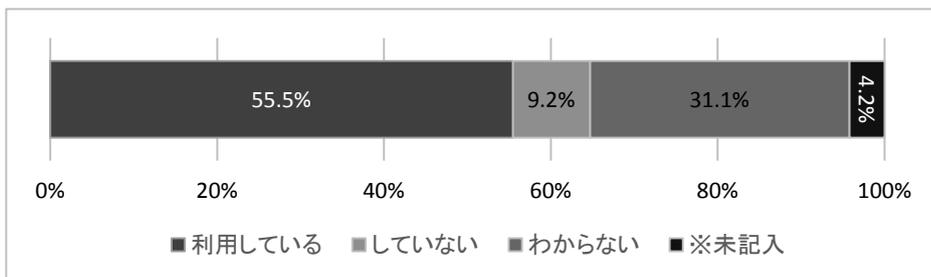
公立が 66.4%と最多。外国人学校は 3 割弱 (29.4%)。

6-3-3 どのような入試でしたか (n=119)



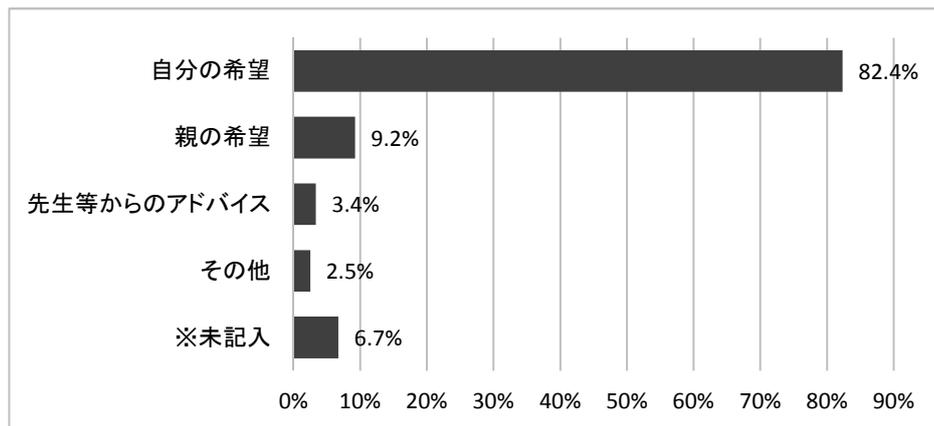
一般入試が 4 割近く (37.0%) と最多。外国人特別選抜も 7.6%あった。

6-3-4 高等学校等就学支援金制度を利用していますか (高校の授業料が安くなる制度) (n=119)



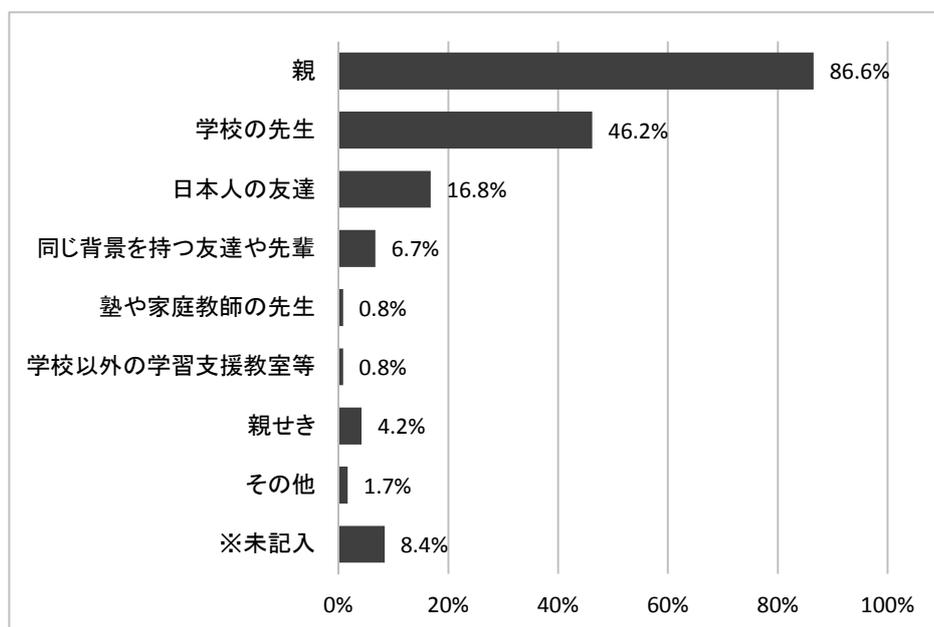
利用しているが 55.5%と最多。

6-3-5 高校へ進学したのはなぜですか (n=119)



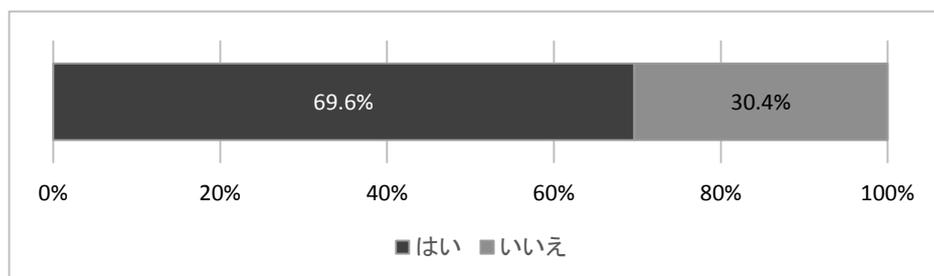
自分の希望が 82.6%と最多。

6-3-6 高校進学を勧めてくれた人は（複数回答可）(n=119)



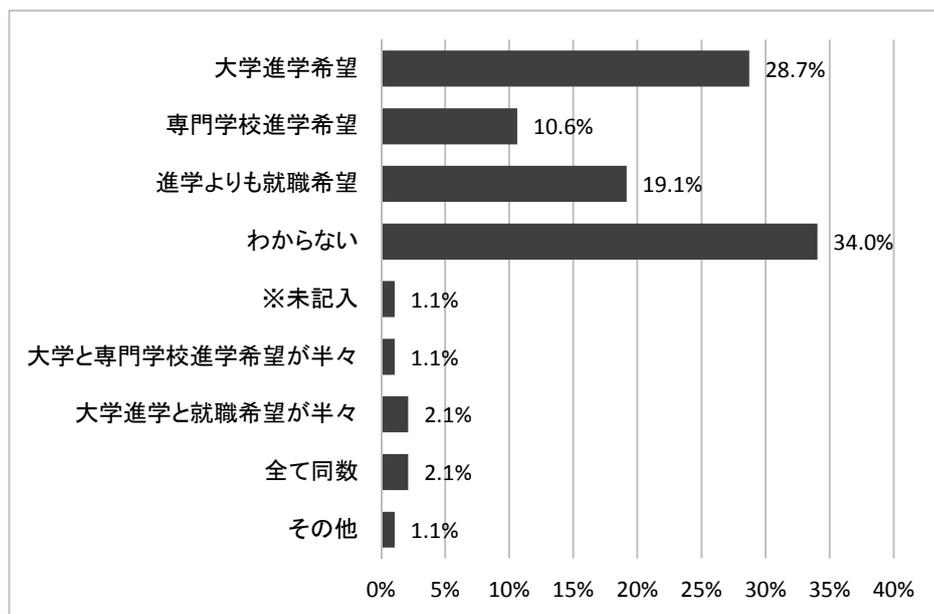
親が 86.6%と最多。次いで、学校の先生が 46.2%、日本人の友達が 16.8%と続く。

6-3-7 日本人の親しい友達はいますか（いましたか）(n=135)



「いる」が 69.6%と大半を占めた。日本生まれ日本育ちの若者が増えた影響か、日本人の友人も多いことが伺える。

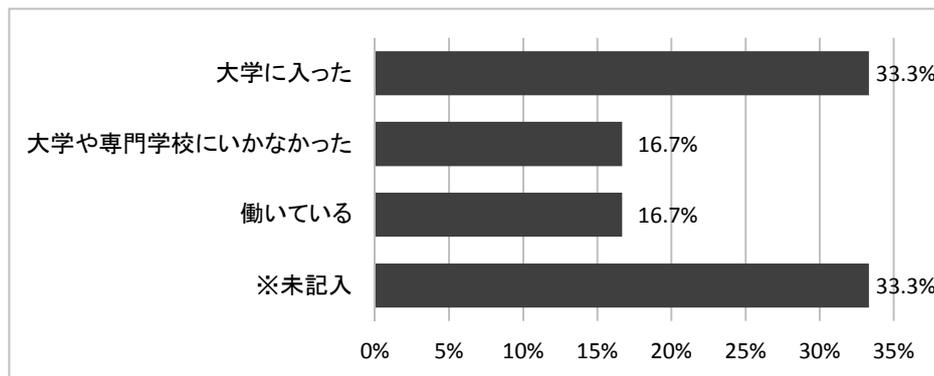
6-3-8 あなたの日本人の親友の進路はどれが多かったですか (n=94)



「わからない」が全体の3割で最多。次に大学進学希望が28.7%と続く。

6-4 高校を卒業した方にかがいます

6-4-1 あなたは、高校卒業後、専門学校や大学に通いましたか (n=6)



6-4-2 大学や専門学校に行かなかった理由として近いものを教えてください (n=2)

大学への進学希望がなかった	0名
親から働くよう言われた	1名
進学する能力が足りなかった	0名
経済的に無理だった	1名

6-5 日本で専門学校・大学に通った方におたずねします

6-5-1 全日制ですか、定時制ですか (n=3)

全日制	2名
定時制	1名
通信制	0名
その他	0名

6-5-2 公立ですか、私立ですか (n=3)

公立	3名
私立	0名
その他	0名

6-5-3 どのような入試でしたか (n=3)

一般入試	2名
A〇入試等	0名
スポーツ推薦	0名
指定校推薦	0名
その他(面接とレポート)	1名

6-5-4 大学や専門学校へ進学したのはなぜですか (n=3)

自分の希望	3名
親の希望	0名
先生等からのアドバイス	0名
その他	0名

6-5-5 大学や専門学校への進学を勧めてくれた人は(複数回答可) (n=3)

親	3名
学校の先生	2名
日本人の友達	0名
同じ背景を持つ友達	0名

- ・6-5-6 何を学びましたか。学部や専攻を教えてください。(4名から回答)
 多文化コミュニケーション学科 英語英米文化専攻 1名
 未記入 3名

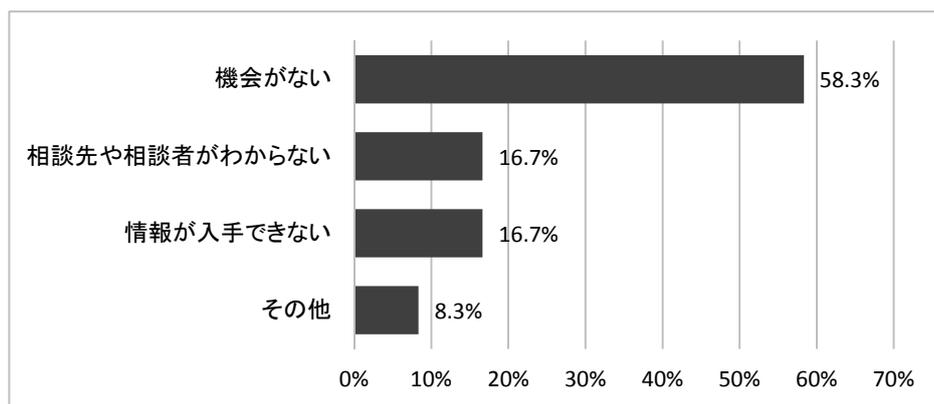
7. これからの進路についておたずねします

7-1 これからの進路について考えたことはありますか (n=135)

考えたことがある	123名	91.1%
考えたことがない	12名	8.9%

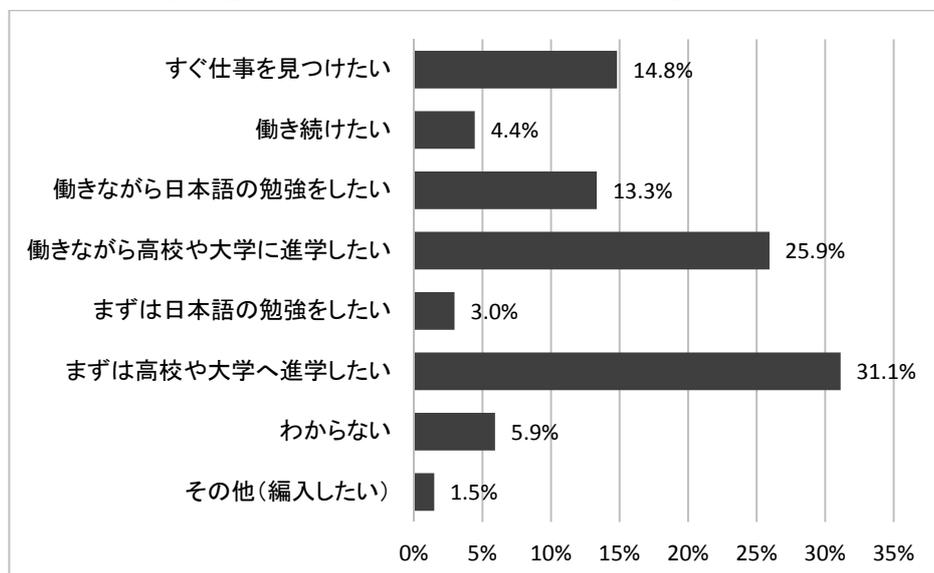
「ある」が91.1%と大半を占めた。進路について関心がある様子が伺える。

7-2 【考えたことがない場合】それはなぜですか (n=12)



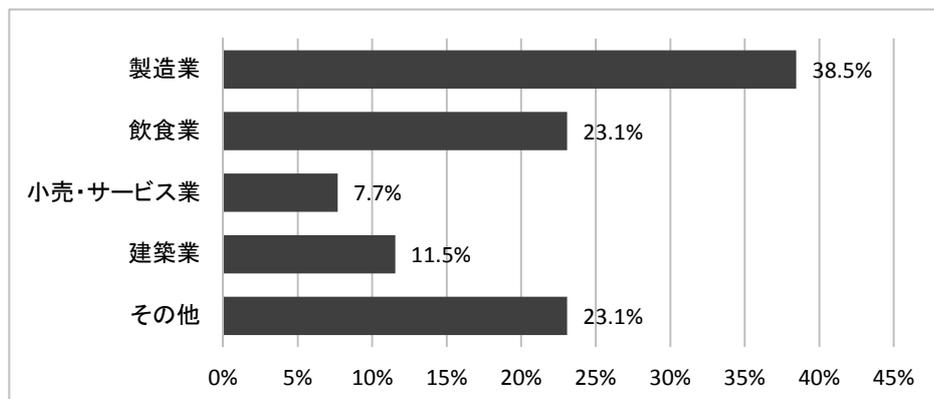
「機会がない」が58.3%と最多。次いで、「相談先がわからない」「情報が入手できない」が16.7%で同率。

7-3 これからの進路をどう考えていますか。一番近いものを教えて下さい。(n=135)



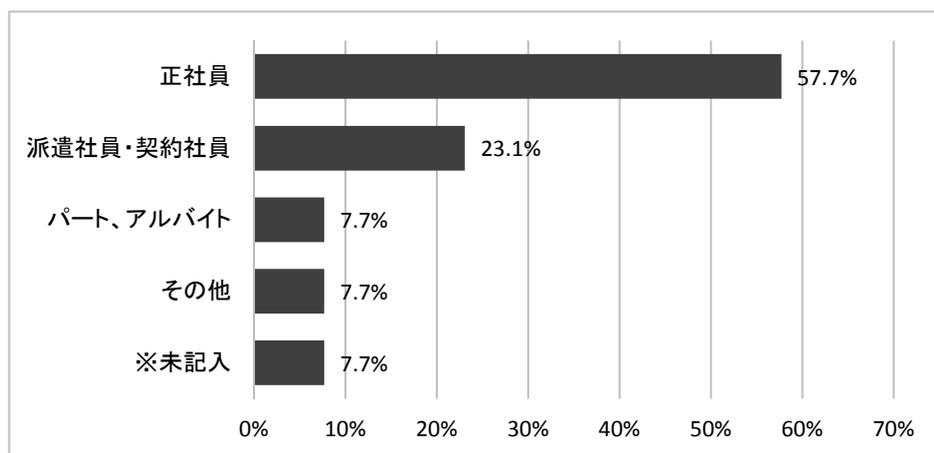
高校大学への進学が31.1%と最多。次いで、働きながらの進学が25.9%・働きながら日本語の勉強が13.3%と勉強したい意欲はあるが、経済的な事情により働くことを考えざるを得ないことが伺える。

7-4-1 どのような仕事をしたいですか (n=26)



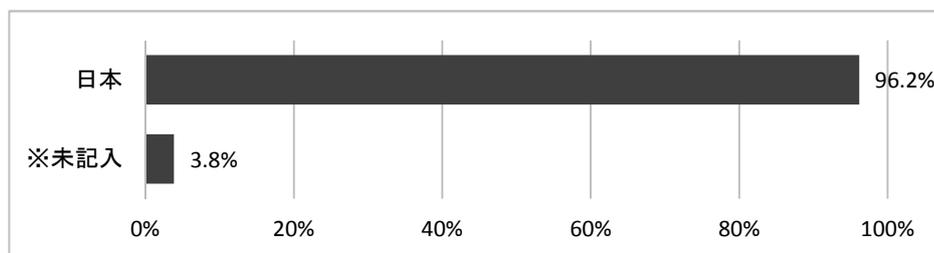
製造業が38.5%と最多。次いで、飲食業及びその他が23.1%と同率で続く。親が製造業に従事している割合が高い影響か、製造業での就業を希望する割合が高い。

7-4-2 雇われ方は (n=26)



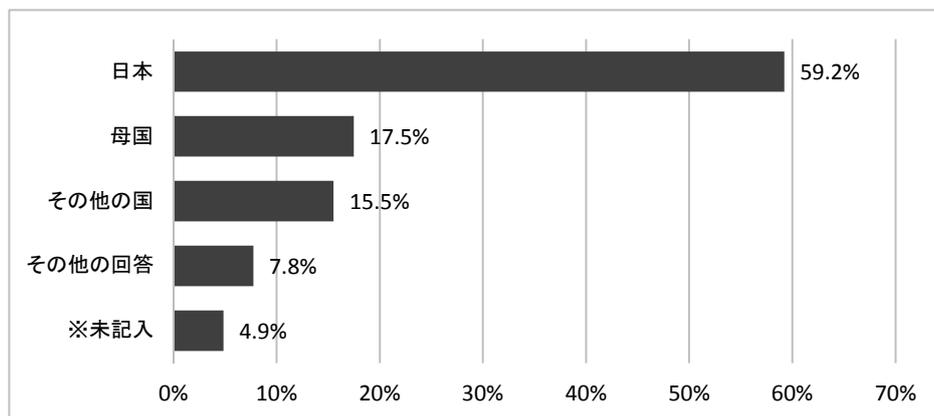
正社員が 57.7%と最多で安定した雇用形態を希望している割合が比較的高い。

7-4-3 どこで働きたいですか (n=26)



「日本」が 96.2%と大半を占める。多くの若者がこの地域で暮らしていくことを希望していることが伺える。

7-5-1 どこで勉強したいですか (n=103)

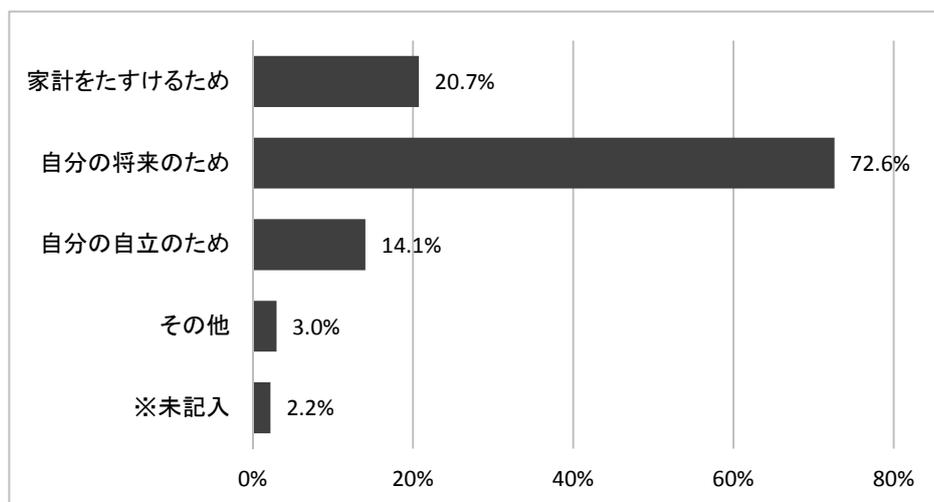


日本が 59.2%と過半数と超える。次いで、母国が 17.5%と続く。

7-5-2 どのような分野の勉強をしたいですか

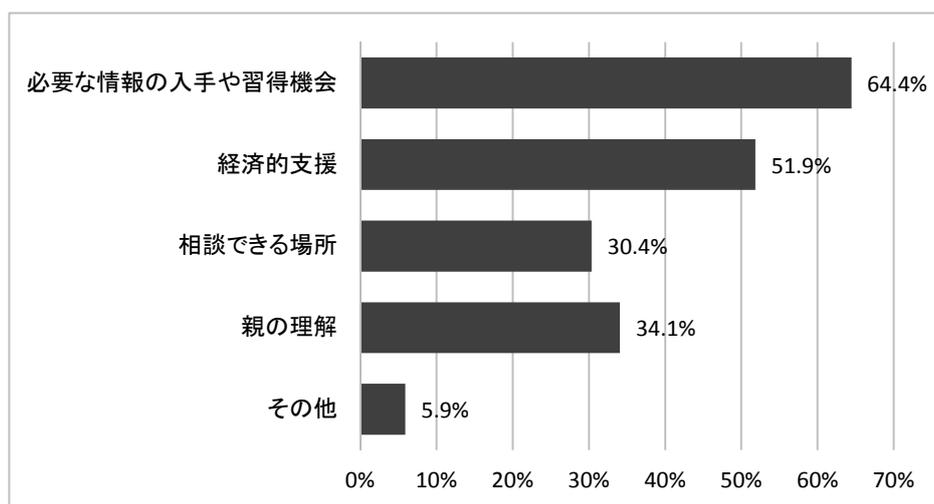
なりたい職業を記載した回答も含めて「医学関係・獣医・コンピューター関係」や自分の背景を生かして「語学・国際交流・観光」などの分野を希望する若者が多い。

7-6 自分の進路を考えた理由は何ですか (n=135)



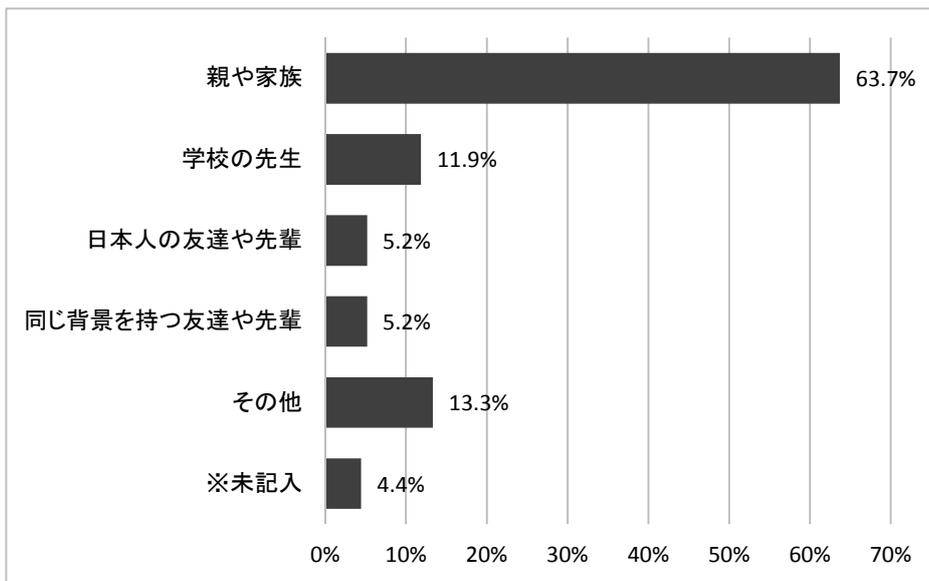
「自分の将来のため」が72.6%と大半を占めた。次いで、「家計をたすけるため」が20.7%と続く。

7-7 進路を考える際に必要な支援は何ですか (複数回答可) (n=135)



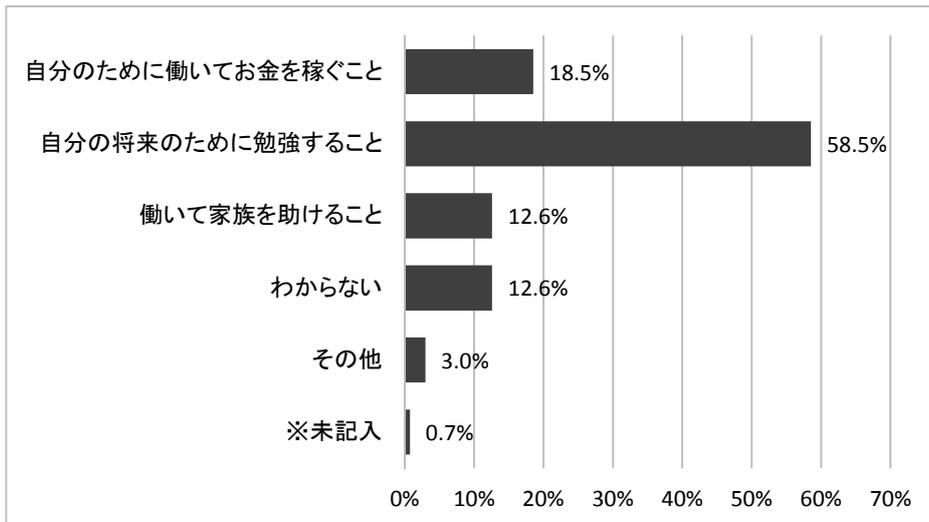
「必要な情報の入手・習得機会」が64.4%で最多。次いで、「経済的支援」が51.9%。「親の理解」が34.1%と続く。

7-8 進路を考える上で一番影響を受けた人は誰ですか (n=135)



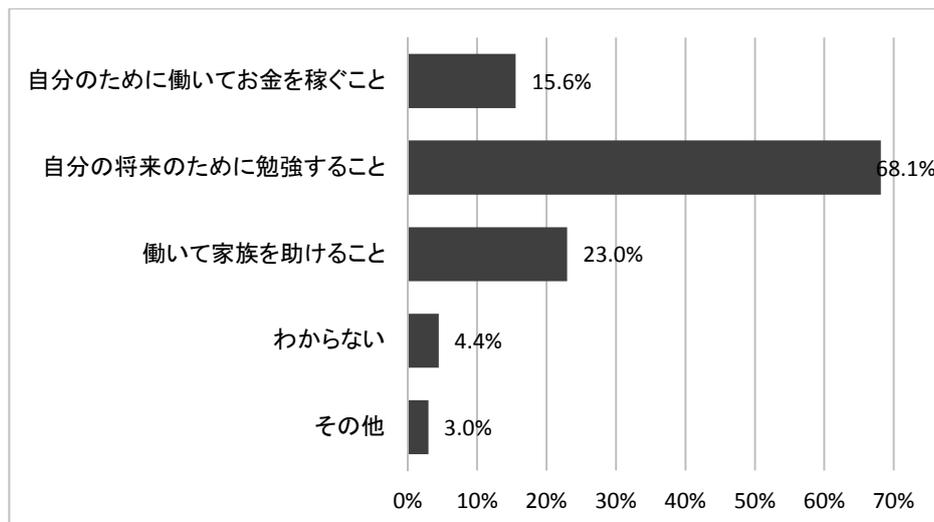
「親や家族」が 63.7%と最多。親や家族の影響はかなり大きいことが伺える。

7-9 親からあなたに期待されていることがあれば教えてください (n=135)



「自分の将来のために勉強すること」が 58.5%で最多。次いで、「自分のために働いてお金を稼ぐこと」が 18.5%と続く。

7-10 あなた自身は、今の自分にとってどれが一番大切だと思いますか (n=135)



「自分の将来のために勉強すること」が 68.1%で最多。次いで、「自分のために働いてお金を稼ぐこと」が 15.6%と続く。

7-11 将来、やってみたい仕事や夢があれば教えてください。

- ・ 大学や専門学校などで専門的に学びたい (23)
- ・ 芸能やスポーツ関係の職業に就きたい (15)
- ・ 通訳や翻訳業など語学を生かした職業に就きたい (12)
- ・ その他、美容師やエステティシャン、整備士 など

7-12 身近な人で、目標としている人はいますか。詳しく教えてください。

- ・ 両親もしくは父親か母親 (11)
- ・ 兄弟姉妹 (5)
- ・ 親戚など (12)
- ・ 叔父や叔母 (8)
- ・ 友人、知人 (9)
- ・ 有名人、その他 (8) など

これからやってみたいこと、アドバイスがほしいことなど、自由に意見を書いてください。

- ・ 日本や海外の大学の奨学金制度についてもっと知りたい (9)
- ・ 進学や就職に関する情報や希望する分野に進んだ先輩などからのアドバイスがほしい (9)
- ・ 日本語を勉強したい (3)
- ・ 海外で勉強したい (2) など

※読み方の注意点

- ・ 集計結果は小数点以下第2位を四捨五入しており、回答比率の合計が100%とならないことがあります。
- ・ 複数の回答を依頼した質問では、割合の合計が100%を超えることがあります。
- ・ 本文中のグラフなどにおいて、長い文となる選択肢等表記は簡略化している場合があります。

(3) 外国にルーツを持つ高等学校在籍者へのキャリア支援研修

モデル校を選定し、先輩外国人青年からの報告やセミナー・ワークショップ等の開催により、自らの将来について考えるキャリア形成過程への支援を行った。

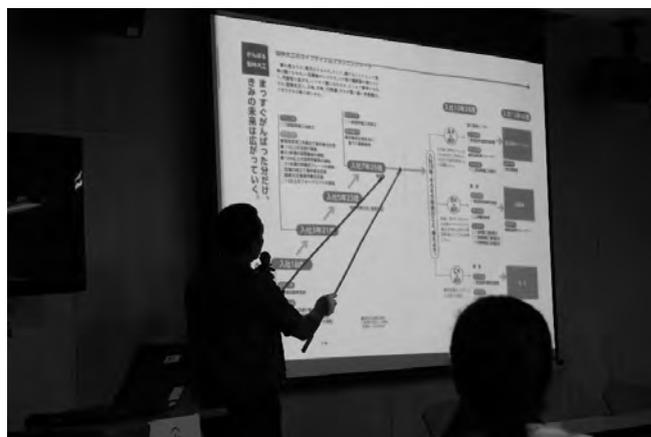
① 定時制高等学校への出前授業

- ◆概要 外国にルーツを持つ若者グループ COLORS（カラーズ）が定時制高等学校に出向いて出前授業を行い、将来を考える機会を提供する。
- ◆回数 計8回（各校4回）
- ◆内容 ワークショップ形式
（ライフストーリー及び就職時に大切にしたい価値観
目標に向けたタイムラインの作成）
- ◆参加者 ・静岡県立浜名高等学校 生徒約28名（フィリピン、ブラジル、ベトナムなど）
・静岡県立磐田南高等学校 生徒約25名（ブラジル、フィリピンなど）
- ◆成果 ・進学や就職について前向きな関心を示す生徒も出てきた
・同じ境遇の先輩と接するうちに本音で悩みを相談する生徒も出てきた
- ◆課題 ・実施校数や開催回数など高校側からのニーズへ全て対応できない
・継続的に実施可能な体制づくり



② 外国にルーツを持つ高校生のための就職応援セミナー

- ◆概要 外国にルーツを持つことを生かして就職している先輩外国人青年からの報告や企業担当者からの話を聞くことで就労に対する意識を高める。
- ◆開催日 2016年10月7日（金）
- ◆会場 静岡県立浜松大平台高等学校
- ◆内容
 - ・先輩外国人青年2人からの報告（派遣会社営業、サービス業窓口業務）
 - ・企業4社からの会社説明（運送業、サービス業、建設業）
 - ・個別相談会
- ◆参加者 高校生18人（うち浜名高校3名） ブラジル15人、フィリピン3人
- ◆成果
 - ・企業と学校の連携強化につながった
 - ・製造業以外の職業についても視野が広がった
- ◆課題
 - ・参加者を一層増やすための実施内容や周知方法の工夫
 - ・静岡県教育委員会と連携した実施



(4) 外国にルーツを持つ青少年のキャリア支援を考える集い

実態調査の結果を報告するとともに、外国人青少年が地域社会で活躍するための機会の創出や必要な支援のあり方について検討するため、シンポジウムを開催した。

- ◆開催日 2016年12月17日(土)
- ◆会場 浜松市外国人学習支援センター
- ◆参加者 74人(教育機関関係者、自治体関係者、市民等)

◆プログラム

第1部	基調講演 「外国人青少年を取り巻く状況」
第2部	事業報告 外国にルーツを持つ青少年のキャリア支援事業 学齢期を経過した外国人青少年の実態調査 外国にルーツを持つ高等学校在籍者へのキャリア支援研修
第3部	パネルディスカッション 「外国人青少年が地域社会で活躍していくために」

① 基調講演

「外国人青少年を取り巻く状況」

静岡県立大学 准教授 高畑 幸



② 事業報告

「学齡期を過ぎた外国人青少年の実態調査」

(公財) 浜松国際交流協会 事務局長 竹村 吉弘

「外国にルーツを持つ高等学校在籍者へのキャリア支援研修」

(公財) 浜松国際交流協会 主任・多文化共生コーディネーター 松岡 真理恵



③ パネルディスカッション

「外国人青少年が地域社会で活躍していくために」

◆登壇者

【パネリスト】

愛知淑徳大学文学部准教授 小島 祥美

静岡県立浜松大平台高等学校定時制課程教頭 伊藤 忍

NPO 法人フィリピンナガイサ副理事長 松本 義一

ハローワーク浜松外国人労働者専門官 鈴木 里江子

(公財) 浜松国際交流協会学習支援チーフコーディネーター 内山 夕輝

【コーディネーター】

静岡県立大学国際関係学部准教授 高畑 幸





外国人青少年の社会参加促進に向けて

外国にルーツを持つ子供たちが地域社会に定着するなか、学齢期の外国人の子供の教育支援への注力は進み、一定の成果も出ている。一方、学齢期後の外国人青少年に対する生活支援や学習支援、就労支援などの取組は進んでいない。

誰もが能力を発揮できる活力ある地域づくりを目指すため、生活支援や就労支援等のための組織を超えた連携強化や受入れに当たっての日本語学習支援体制の整備が必要であるが、これは特定地域の一時的な課題ではなく、将来にわたる国全体の課題である。

浜松市では、今年度、本事業の取組のなかで、外国人青少年の支援に係る関係諸機関との連携体制の構築や高等学校進学後の様子や生活実態の把握、抱えている課題や支援が必要な内容の把握などの成果も出てきている。

来年度に向けて、引き続き、地域や関係諸機関と連携し、外国人青少年のキャリア支援のための体制づくりを進めていく必要がある。

5 参考資料

(1) 実態調査票

がくれいき す がいこくじんせいしやうねん じつたいちやうさ ちやうさひやう
学齢期を過ぎた外国人青少年の実態調査 調査票

1. あなたについておたずねします

- 1-1 性別は 女性 男性
- 1-2 年齢は (才)
- 1-3 国籍は
1 ブラジル 2 フィリピン 3 ペルー 4 ベトナム 5 日本
6 二重国籍 (/)
7 その他 ()
- 1-4 在留資格は
1 永住者 2 定住者 3 日本人の配偶者等 4 家族滞在 5 永住者の配偶者等
6 日本国籍 (在留資格不要) 7 その他 ()
- 1-5 今、住んでいる場所は
1 浜松市中区 2 浜松市東区 3 浜松市西区 4 浜松市南区
5 浜松市北区 6 浜松市浜北区 7 浜松市天竜区 8 浜松市外
- 1-6 誰と暮らしていますか (複数回答可)
1 母 2 父 3 兄弟姉妹 4 祖父 5 祖母 6 おじさん 7 おばさん
8 いとこ 9 おい・めい 11 自分の配偶者 12 その他 ()
※合計 名 (あなたも含んで)

2. あなたのルーツについておたずねします

- 2-1 あなたが生まれた場所は
1 日本 (2-3 へ)
2 日本以外の国: _____ (2-2 へ)

※2-2 日本以外で生まれた方におたずねします (2-1 で [2] をえらんだ人のみ)

- 2-2-1 日本に来たのは何歳の頃ですか
1 0~3歳 2 4~6歳 3 7歳~9歳 4 10歳~12歳 5 12歳~15歳 6 16歳以上

- 2-2-2 来日何年目になりますか (年目)

2-2-3 来日する前に、学校に行っていましたか

- 1 行っていない
2 幼稚園を卒業した
3 小学校に入ったが卒業していない
4 小学校を卒業した
5 ジュニアハイスクールに入ったが卒業していない
6 ジュニアハイスクールを卒業した。
7 ハイスクールに入ったが卒業していない
8 ハイスクールを卒業した
9 その他 ()

2-3 これまでのあなたの住んでいたところは、どれに近いですか

- 1 日本生まれだが、長い間外国に住んでいた (2-4 へ)
2 日本生まれで、ずっと日本に住んでいる (3 へ)

- 3□母国で生まれで、ずっと外国に住んでいた (2-4 へ)
 4□母国に生まれたが、長い間日本に住んでいる (2-4 へ)
 5□日本と母国を行ったり来たり (2-4 へ)
 (現在何回目の来日ですか 回)
 6□その他 _____

※日本生まれ日本育ちの以外の人におたずねします。(2-3 で[2]以外をえらんだ人)

2-4 日本に来た理由はどれに近いですか (複数回答可)

- 1□家族と一緒に暮らすため
 2□日本で働くため
 3□日本で勉強するため
 4□日本での生活を体験するため
 5□親に言われたため
 6□その他 ()

3. あなたの言葉についておたずねします

3-1 現在、あなたが一番、話しやすい言葉は

- 1□母国語 (語) 2□英語 3□日本語
 4□その他 (語)

3-2 現在、あなたが一番、読み書きをしやすい言葉は

- 1□母国語 (語) 2□英語 3□日本語
 4□その他 (語)

3-3 現在、日本語はどのくらいできますか

- 1□ ほとんどできない
 2□ 聞くことと話すことはできるが、ほとんど読み書きはできない
 3□ 聞くことも話すこともできるし、ひらがな・カタカナは読み書きができる
 4□ 聞くことも話すこともできるし、漢字まじりの読み書きができる
 5□ 全く問題がなく日本語が使える
 6□ その他 ()

3-4 現在、母国語はどのくらいできますか

- 1□ ほとんどできない
 2□ 聞くことと話すことはできるが、ほとんど読み書きはできない
 3□ 聞くことも話すこともできるし、読み書きができる
 4□ 全く問題がなく母国語が使える
 5□ その他 ()

4. 今の日本での暮らしについておたずねします

4-1 現在、仕事(アルバイト含む)をしていますか

- 1□している (4-2 へ)
 2□していない (4-3 へ)
 3□していないが、仕事を探している (4-3 へ)
 4□その他 _____

※4-2[1仕事をしている]をえらんだ人のみにおたずねします。

4-2-1 (仕事をしている場合) 仕事は何ですか

- 1□ 製造業 [工場]
- 2□ 飲食業 [レストラン・ファーストフード・スナックなど]
- 3□ 介護・福祉 [介護士・看護師など]
- 4□ 小売・サービス業 [コンビニ・スーパー・携帯ショップ・ドラッグストアなど]
- 5□ 建築業 [工事現場・たてものの解体など]
- 6□ 農林水産業 [漁師・農業・林業]
- 7□ その他 ()

4-2-2 (仕事をしている場合) 雇われ方は

- 1□ 正社員
- 2□ 派遣社員・契約社員
- 3□ パート、アルバイト
- 4□ その他 ()

4-2-3 仕事をしている理由は

- 1□ 家計や家族のため
- 2□ 学校の学費を支払うため
- 3□ 自分の将来への貯金のため
- 4□ その他 ()

4-3 地域でおこなわれている行事に家族で参加しますか (しましたか)

- 1□ 子ども会の行事に参加した
- 2□ 夏まつりなどに参加した
- 3□ 防災訓練などに参加した
- 4□ 地域の運動会に参加した
- 5□ その他: _____ に参加した
- 6□ 参加したことがない

4-4 空いている時間に、何をしていますか (複数回答可)

- 1□ 親や家族の通訳・翻訳
- 2□ 兄弟の世話
- 3□ インターネットやSNS、ゲーム
- 4□ 友達と遊ぶ
- 5□ その他 ()

5. あなたの家族についておたずねします

5-1 あなたのお父さんについておたずねします

5-1-1 お父さんと同居していますか

- 1□ 同居している
- 2□ 同居していない
- 3□ その他 ()

5-1-2 お父さんの国籍は何ですか

- 1□ ブラジル
- 2□ フィリピン
- 3□ ペルー
- 4□ ベトナム
- 5□ 日本
- 6□ 二重国籍 (/)
- 7□ その他 ()

5-1-3 お父さんは働いていますか

- 1□ 働いていない (5-1-6 へ)
- 2□ 働いている (5-1-4 へ)
- 3□ わからない (5-1-6 へ)

※[2. 働いている]をえらんだ人におたずねします。

5-1-4 仕事は何ですか (複数回答可)

- 1 製造業 [工場]
2 飲食業 [レストラン・ファーストフード・スナックなど]
3 介護・福祉 [介護士・看護師など]
4 小売・サービス業 [コンビニ・スーパー・携帯ショップ・ドラッグストアなど]
5 建築業 [工事現場・たてものの解体など]
6 農林水産業 [漁師・農業・林業]
7 その他

5-1-5 (仕事をしている場合) 雇われ方は

- 1 正社員 2 派遣社員・契約社員 3 パート、アルバイト
4 その他 ()

5-1-6 現在、日本語はどのくらいできますか

- 1 ほとんどできない
2 聞くことと話すことはできるが、ほとんど読み書きはできない
3 聞くことも話すこともできるし、ひらがな・カタカナは読み書きができる
4 聞くことも話すこともできるし、漢字まじりの読み書きができる
5 全く問題がなく日本語が使える
6 その他 ()

5-2 あなたのお母さんについておたずねします

5-2-1 お母さんと同居していますか

- 1 同居している 2 同居していない 3 その他 ()

5-2-2 お母さんの国籍は何ですか

- 1 ブラジル 2 フィリピン 3 ペルー 4 ベトナム 5 日本
6 二重国籍 (/)
7 その他 ()

5-2-3 お母さんは働いていますか

- 1 働いていない (5-1-6 へ)
2 働いている (5-1-4 へ)
3 わからない (5-1-6 へ)

※[2. 働いている]を選んだ人におたずねします。

5-2-4 (働いている場合) 仕事は何ですか (複数回答可)

- 1 製造業 [工場]
- 2 飲食業 [レストラン・ファーストフード・スナックなど]
- 3 介護・福祉 [介護士・看護士など]
- 4 小売・サービス業 [コンビニ・スーパー・携帯ショップ・ドラッグストアなど]
- 5 建築業 [工事現場・たてものの解体など]
- 6 農林水産業 [漁師・農業・林業]
- 7 その他 ()

5-2-5 (働いている場合) 雇われ方は

- 1 正社員
- 2 派遣社員・契約社員
- 3 パート、アルバイト
- 4 その他 ()

5-2-6 現在、日本語はどのくらいできますか

- 1 ほとんどできない
- 2 聞くことと話すことはできるが、ほとんど読み書きはできない
- 3 聞くことも話すこともできるし、ひらがな・カタカナは読み書きができる
- 4 聞くことも話すこともできるし、漢字まじりの読み書きができる
- 5 全く問題がなく日本語が使える
- 6 その他 ()

6. あなたが日本で通った学校についておたずねします

6-1 日本で学校に行っています (した) か

- 1 行っていない (6-2 へ)
- 2 中学校に入ったが卒業していない (6-2 へ)
- 3 中学校を卒業したが高校に入っていない (6-2 へ)
- 4 高校に入ったが卒業していない (在学中) (6-3 へ)
- 5 高校に入ったが退学した (6-3 へ)
- 6 高校を卒業した (6-3 へ)
- 7 大学・専門学校に入った (在学中・卒業を含む) (6-3 へ)
- 8 外国人学校に入ったが卒業していない (高校過程に在籍中を含む。) (6-3 へ)
- 9 外国人学校を退学した。(もしくは中学過程で卒業した。) (6-2 へ)
- 10 その他 ()

※6-2 日本で公立高校に行かなかった方におたずねします [6-1 で[1 か 2 か 3 か 9]を選んだ人]

6-2-1 高校に行かなかった理由として一番近いものを教えて下さい

- 1 高校への進学希望がなかった
- 2 親から高校へ進学せず、働くように言われた
- 3 高校へ進学したかったが、能力が足りなかったので受験しなかった
- 4 高校へ進学したかったが、経済的に無理だった
- 5 受験したが合格しなかった。
- 6 その他 ()

6-2-2 これから高校へ進学して勉強したい希望はありますか

- 1 ある
- 2 ない
- 3 わからない
- 4 その他 ()

※6-3 日本で高校に通っている（いた）方におたずねします（6-1で[4か5]をえらんだ人）

6-3-1 全日制ですか、定時制ですか

- 1□全日制 2□定時制 3□単位制 4□通信制 5□その他_____

6-3-2 公立ですか、外国人学校ですか

- 1□公立 2□私立 3□外国人学校 4□その他:

6-3-3 どのような入試でしたか

- 1□外国人特別選抜 2□一般入試 3□推薦入試 4□試験なし
5□その他_____

6-3-4 高等学校等就学支援金制度を利用していますか。（高校の授業料が安くなる制度）

- 1□利用している 2□していない 3□わからない

6-3-5 高校へ進学したのはなぜですか

- 1□自分の希望 2□親の希望 3□先生等からのアドバイス
4□その他（_____）

6-3-6 高校進学を勧めてくれた人は（複数回答可）

- 1□親 2□学校の先生 3□日本人の友達 4□同じ背景を持つ友達や先輩
5□塾や家庭教師の先生 6□学校以外の学習支援教室等
7□親せき 8□その他_____:

6-3-7 日本人の親しい友達はいますか（いましたか）

- 1□はい 2□いいえ

6-3-8 あなたの日本人の親友の進路はどれが多かったですか。（6-3-7で[1]をえらんだ人）

- 1□大学進学希望が多かった
2□専門学校への進学希望が多かった
3□進学よりも就職希望が多かった
4□わからない
5□その他（_____）

※6-4 高校を卒業した人にうかがいます。

6-4-1 あなたは、高校卒業後、専門学校や大学に通いましたか

- 1□大学に入った (6-5-1へ)
2□専門学校に入った (6-5-1へ)
3□大学や専門学校にいかなかった (6-4-2へ)
4□その他_____

※6-4-2 大学や専門学校へいかなかった人におたずねします。

6-4-2 大学や専門学校に行かなかった理由として近いものを教えてください

- 1□大学への進学希望はなかった
2□親から働くように言われた
3□大学や専門学校へ進学したかったが、能力が足りなかったので受験しなかった
4□大学や専門学校へいきたかったが、経済的に無理だった
5□大学を受験したが合格しなかった
6□その他_____

※6-5 日本で専門学校・大学に通った方におたずねします

6-5-1 全日制ですか、定時制ですか
 全日制 定時制 通信制 その他 _____ :

6-5-2 公立ですか、私立ですか
 公立 私立 その他:

6-5-3 どのような入試でしたか
 一般入試 入試等 スポーツ推薦 指定校推薦 その他の推薦入試
 その他 _____

6-5-4 大学や専門学校へ進学したのはなぜですか
 自分の希望 親の希望 先生等からのアドバイス その他 (_____)

6-5-5 大学や専門学校への進学を勧めた人は (複数回答可)
 親 学校の先生 日本人の友達 同じ背景を持つ友達や先輩
 塾や家庭教師の先生 学校以外の学習支援教室等
 親せき その他 _____ :

6-5-6 何を学びましたか。学部や専攻を教えてください。例：工学部

7. これからの進路についておたずねします

7-1 これからの進路について考えたことはありますか

- ある (7-3 へ) ない (7-2 へ)

※ [2 ない] と答えた人のみにおたずねします

7-2 それはなぜですか

- 機会がない
 相談先や相談者がわからない
 情報が入手できない
 その他 (_____)

7-3 これからの進路をどう考えていますか。一番近いものを教えてください。

- すぐ仕事を見つけない (7-4 へ)
 働き続けたい (7-4 へ)
 働きながら日本語の勉強をしたい (7-5 へ)
 働きながら高校や大学に進学したい (7-5 へ)
 まずは日本語の勉強をしたい (7-5 へ)
 まずは高校や大学へ進学 (卒業) したい (7-5 へ)
 わからない

※7-4 すぐ仕事をみつめたい[1]or 働き続けたい[2]とお答えした人におたずねします

7-4-1 (働く場合) どのような仕事をしたいですか。

- 1 製造業 [工場]
- 2 飲食業 [レストラン・ファーストフード・スナックなど]
- 3 介護・福祉 [介護士・看護師など]
- 4 小売・サービス業 [コンビニ・スーパー・携帯ショップ・ドラッグストアなど]
- 5 建築業 [工事現場・たてものの解体など]
- 6 農林水産業 [漁師・農業・林業]
- 7 その他

7-4-2 (働く場合) 雇われ方は

- 1 正社員
- 2 派遣社員・契約社員
- 3 パート、アルバイト
- 4 その他 ()

7-4-3 (働く場合) どこで働きたいですか

- 1 日本
- 2 母国
- 3 その他 ()

※7-5 勉強したい、進学したいとお答えした人におたずねします

7-5-1 どこで勉強したいですか

- 1 日本
- 2 母国
- 3 その他 ()

7-5-2 どのような分野の勉強をしたいですか。

()

7-6 自分の進路を考えた理由は何ですか

- 1 家計をたすけるため (経済的余裕がない)
- 2 自分の将来のため
- 3 自分の自立のため
- 4 その他 ()

7-7 進路を考える際に必要な支援は何ですか (複数回答可)

- 1 必要な情報の入手や習得機会
- 2 経済的支援
- 3 相談できる場所
- 4 親の理解
- 5 その他 ()

7-8 進路を考える上で一番影響を受けた人は誰ですか

- 1 親や家族
- 2 学校の先生
- 3 日本人の友達や先輩
- 4 同じ背景を持つ友達や先輩
- 5 その他 ()

7-9 親からあなたに期待されていることがあれば教えて下さい

- 1 自分のために働いてお金を稼ぐこと
- 2 自分の将来のために勉強すること
- 3 働いて家族を助けること
- 4 わからない
- 5 その他 ()

7-10 あなた自身は、今の自分にとってどれが一番大切だと思いますか

1□自分のために働いてお金を稼ぐこと

2□自分の将来のために勉強すること

3□働いて家族を助けること

4□わからない

5□その他 ()

7-11 将来、やってみたい仕事や夢があれば教えてください。

例：自分でビジネスをする。医者になりたい。大学に入りたい。

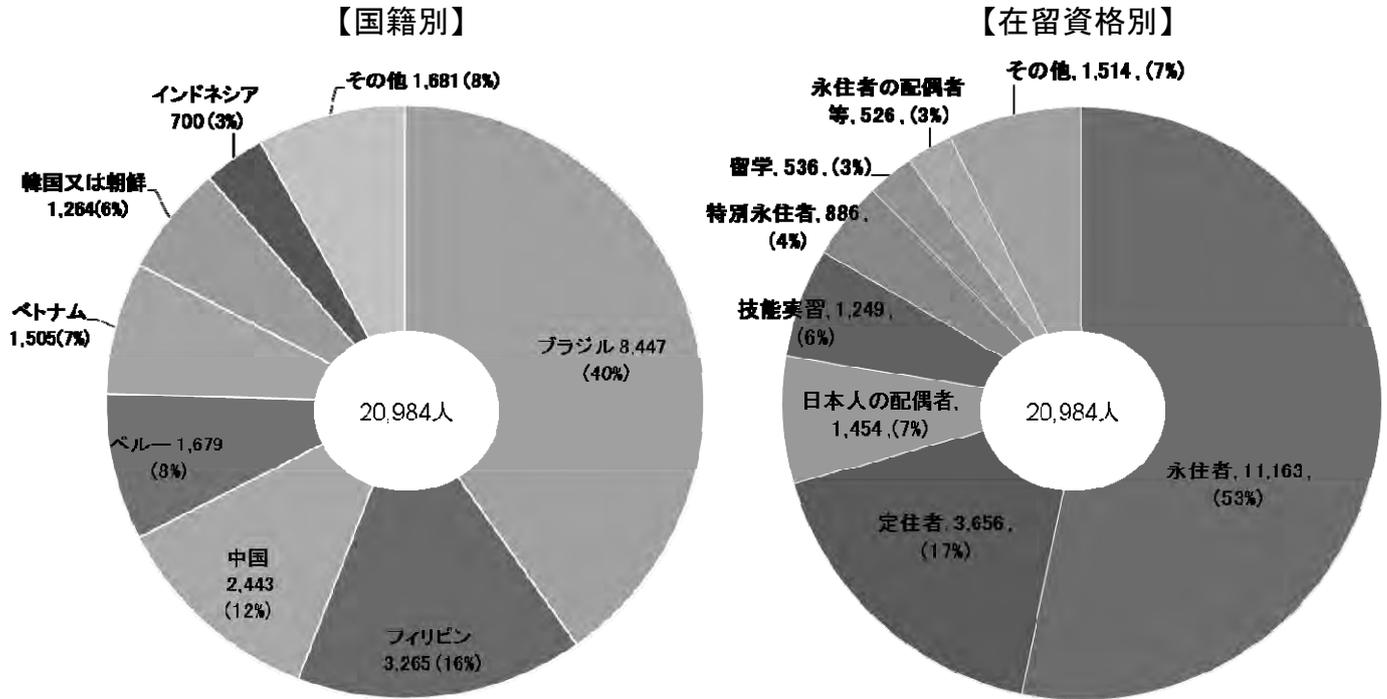
7-12 身近な人で、目標としている人はいますか。詳しく教えてください。

例：アメリカで看護師をしているおばさん。自分もアメリカに行きたい。

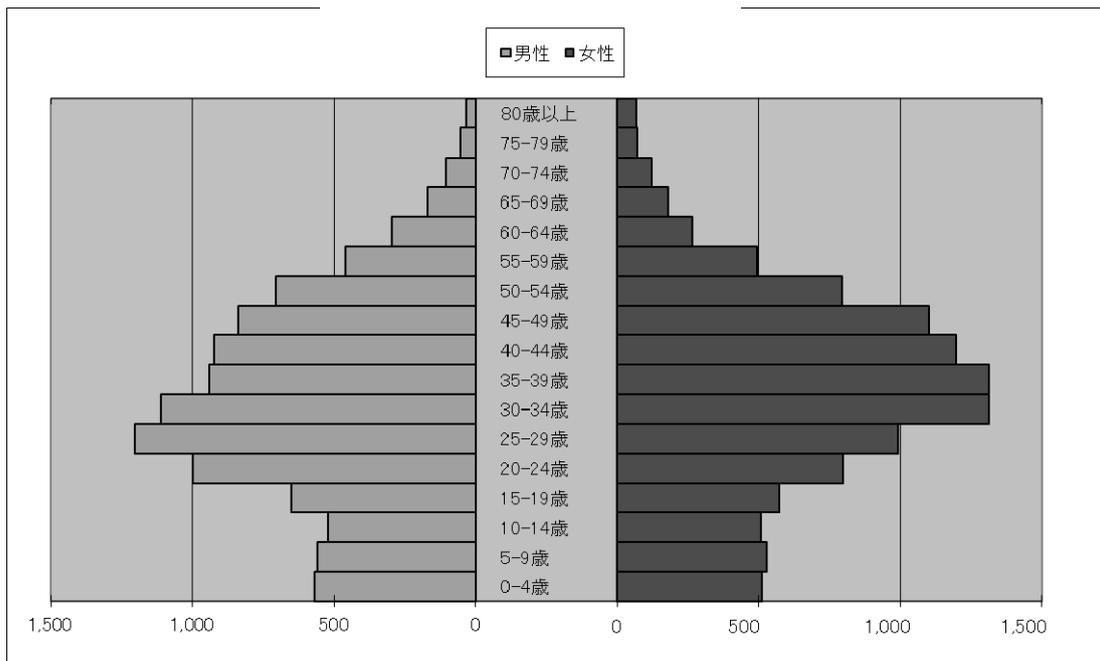
これからやってみたいこと、アドバイスがほしいことなど、自由に意見を書いてください。

(2) 浜松市における在留外国人の状況

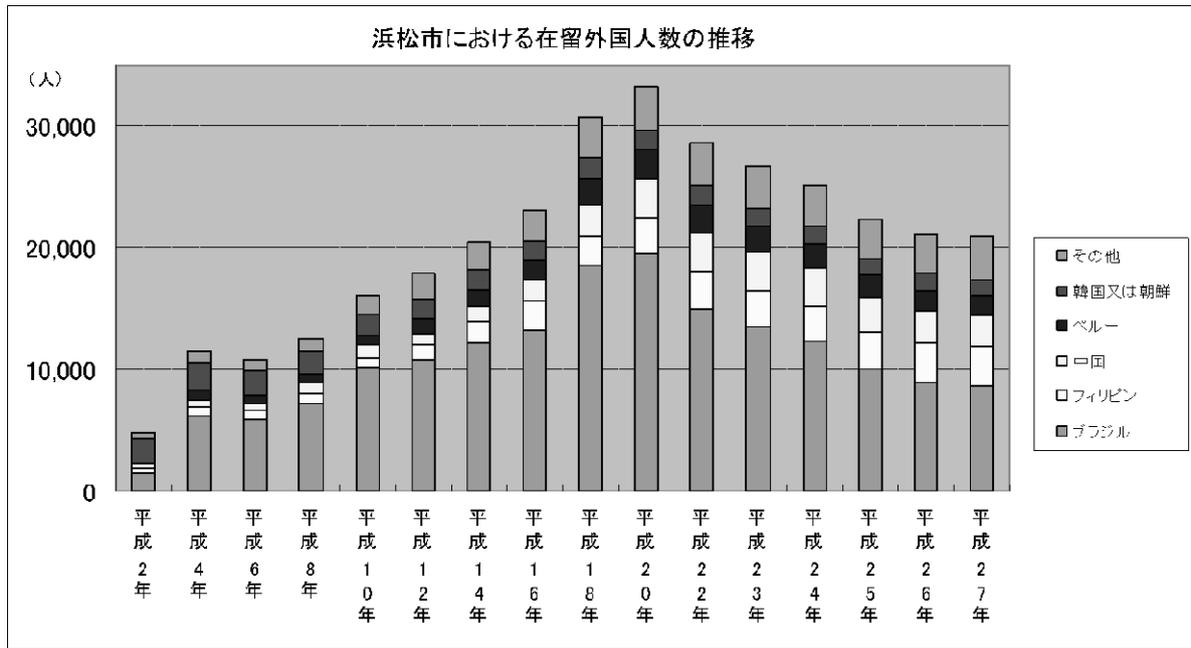
浜松市の在留外国人数は平成28年4月1日現在で20,984人
 総人口807,898人に占める割合の約2.6%



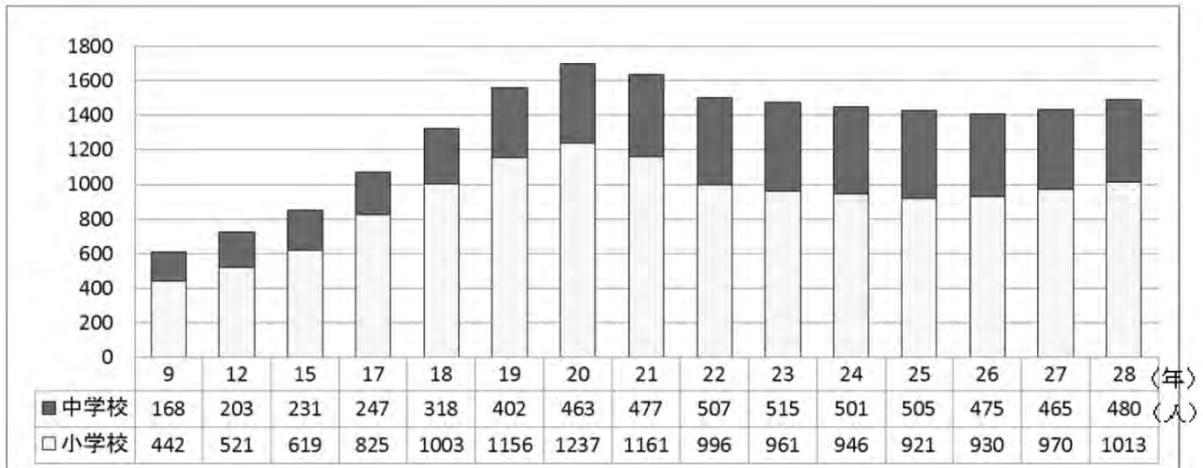
【年齢別人口ピラミッド】



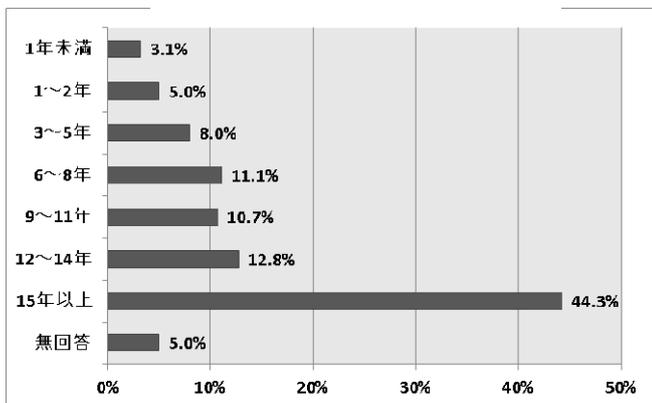
【在留外国人数の推移】



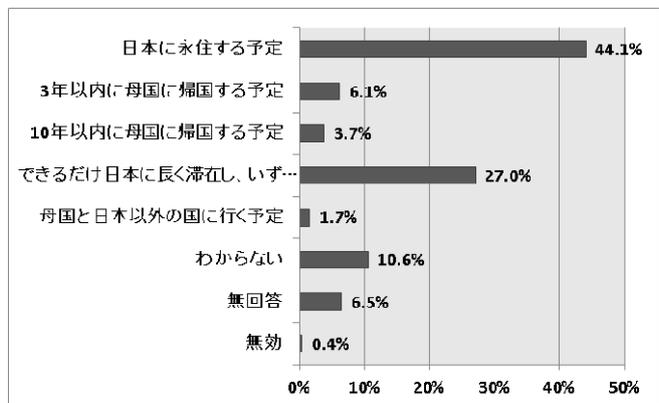
【公立小中学校に在籍する外国籍児童生徒の状況】



【日本での通算滞在年数】



【今後の日本での滞在予定】



浜松市における日本人市民及び外国人市民の意識実態調査（2014年度）